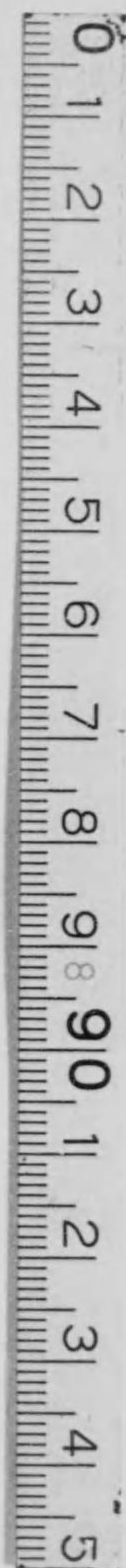


423

185



報 畫 災 震 後 丹 馬 但

EARTHQUAKE PICTORIAL EDITION
(Tajima, Tango District)

行 發 社 聞 新 日 每 阪 大

PUBLISHED BY

THE OSAKA MAINICHI

423-185



但馬丹後震災畫報

EARTHQUAKE PICTORIAL EDITION
(Tajima, Tango District)

大阪毎日新聞社發行

PUBLISHED BY

THE OSAKA MAINICHI

大正

6.13

丙午

Even while the memories of the terrible earthquake at Tokyo and Yokohama in 1923 were still fresh in our minds, a similar disaster took place in the eastern part of the San-in district, on May 23, 1925, at 11. 10 a. m. and razed Kinosaki, the famous hot spring resort, the beautiful town of Toyooka in Hyogo Prefecture, Kumihama in Kyoto Prefecture, and many other towns and villages in the valley of the Maruyama River, that flows into the Japan Sea.

As soon as the news of the earthquake came through, a relief corps, reporters, and photographers on the staff of the Osaka Mainichi, were despatched to the spot and, with splendid intrepidity, risked their lives to keep the public supplied with accurate news and, give the sufferers the relief they badly needed.

The earthquake in the San-in district, thanks to the smallness of the area affected and its distance from the thicker populated regions did very much less damage than the Kanto earthquake, but the suffering, sorrow and misery it brought in its wake were by no means less severe.

This volume is an endeavour to put before the public a record of the actual conditions in the afflicted regions. The pictures were taken by the photographic corps of the Osaka Mainichi, either from aeroplanes or amidst the raging flames, at the risk of their lives. It is the hope of the Osaka Mainichi that this publication will serve the cause of mercy and charity.

The Osaka Mainichi Publishing Co., Ltd.

May 1925.

東京横濱を數分間に灰土となした大地震の思出が、まだ消えやらぬ大正十四年五月廿三日午前十一時、山陰東部地方に起つた地震は、兵庫縣に屬する有名な温泉の町城崎、風光明媚な豊岡の兩町及び京都府の久美濱町を殆ど根本的に破壊したのを初めとし、圓山川が日本海に流れ込む附近の各村部落に甚大の損害を與へた。本社寫眞班記者隊は救護班と共に直ちに出動、あらゆる危険を冒して一方報道の正確迅速を計ると共に、罹災者の救護に全力を盡した。

今回の地震は罹災範圍もせまく、我國中樞の地からも遠ざかつてゐたので、國全体としての損害は關東大震災火災によるそれとは比ぶ可くもないが、被害地方の住民が体験した驚愕、悲哀、困窮は決して關東地方民のそれより小ではない。

本社はこの、本社寫眞班員が、或は飛行機上より、あるひは燃えさかる炎のうちより決死の覺悟で撮影した震災地の慘狀をこの畫帖に收め、讀者と共に永く記念したいと思ふ。

大正十四年五月

大阪毎日新聞社

但馬丹後震災畫報目次

但馬丹後震災火災記

但馬丹後震災地畧圖

- 一 神戸及び京都の地震計にあらはれたる地震
- 二 地蔵湯附近より眺めたる城崎温泉大燒跡(二枚續き)
- 三 盛に燃えつゝある町を逃れて豊岡小學校々庭に集つた避難者の群れ(二枚續き)
- 四 震災前の城崎温泉場
- 五 本社の飛行機上より見たる豊岡の大火(廿三日午後三時)
- 六 豊岡駅前から見た火の手
- 七 船に避難した人々(豊岡)及び本社水 機 久美濱)
- 八 城崎青年團の活動
- 九 燒跡に向向する篤志僧、東京から歸つた豊岡女學校生徒
- 一〇 豊岡中通の燒跡、同町驛前の倒潰
- 一一 豊岡寺町通の燒跡及び整理なりし同通
- 一二 城崎河畔の屍体
- 一三 レール上に寝る避難者、豊岡、城崎の廣場に於る同上
- 一四 煙つた水の山(城崎驛前水倉庫の燒跡)
- 一五 三階建の下丈潰れた温泉旅館(城崎)
- 一六 城崎發汽車に溢れる避難者の群れ
- 一七 大阪毎日新聞社救護班の活動
- 一八 豊岡に於る倒潰家屋及び消防夫の警戒
- 一九 豊岡永井町の廣場に集めた屍体
- 二〇 豊岡驛前通二階家の倒潰及び齒科診療所の貼紙
- 二一 城崎驛前及び燒跡の屍体を捜す同町民
- 二二 城崎地蔵湯へ行く道の大龜裂
- 二三 半潰の城崎驛及び豊岡驛
- 二四 豊岡驛前通の被害
- 二五 久美濱小學校前の倒潰家屋、豊岡に於る龜裂
- 二六 豊岡小學校前の避難者の群れ
- 二七 津居山の被害、豊岡寺院の倒潰
- 二八 豊岡大光寺、城崎はごう屋旅館跡の竹拾ひ
- 二九 城崎温泉山より地蔵湯の燒跡を距て、燒野原を望む
- 三〇 玄武洞の震害
- 三一 露天郵便局、負傷者運搬(城崎)及び避難藝妓のサイダア賣リ
- 三二 姫路工兵第十大隊及び大阪赤十字、第十師團軍醫部の活動
- 三三 線路上の小屋、立往生の列車内に於る避難者、竹藪中の避難者
- 三四 城崎御所附近、川の中に投げ込んだ家具を拾ふ城崎町民
- 三五 火葬場の屍体、屍体の納棺、屍体の掘出し
- 三六 竹林中に徹夜する避難者及び大阪韃婦人會の義捐金募集
- 三七 天理教の接待風呂、城崎一の湯復興修理
- 三八 久美濱及び豊岡の急造バラック小屋
- 三九 豊岡中學校庭の避難者を見舞ふ黒田侍従の一行
- 四〇 片岡内務次官の城崎視察、城崎郡一日市村土工々事務機關車の顛覆
- 四一 日蓮宗、天理教の追悼慰靈祭
- 四二 神戸橋町青年團、鳥取高等農林學校學生の活動、バラックに電燈工事
- 四三 城崎バラックフォームの混雜及び豊岡驛の仮事務所
- 四四 久美濱小學校の倒潰及び露天小學校等(豊岡)
- 四五 豊岡町いろ／＼な貼紙
- 四六 豊岡中學校々庭天理教の野天風呂と復興した城崎一の湯
- 四七 大阪驛に着いた避難者

(終)

但馬丹後震火災記

大正十四年五月二十三日午前十一時十分、北但の一角に突如大地震が起つた。激しい震動と共に豊岡、城崎、津居山、久美濱をはじめとして附近町村の家屋は一瞬にして倒壊し、相次いで起つた猛火は炎々として天を焦がし、平和な山間の村邑は忽ち叫喚騒亂の巷と化した。右往左往逃げまどふ町民の前に大龜裂は口を開き、火焰は行手を遮つた。壓死する者、焼死する者、傷の痛みを忘れて走る者、親を求めると子の聲、子を探す親の叫び、街上には死屍横はり凄惨を極はめた。加ふるに鐵道、電信、電話等は一時不通となり、夜に入ると共に紅蓮の焰は烈風にあふられていよ／＼物凄く、眠るに家なく食ふに食なき人々は天を仰いで暗澹と聲を呑むのであつた。その光景は吾等の記憶に未だ新たなるかの關東大地震災と異るところはない。死傷者八百余名、倒潰焼失家屋三千七百、豊岡町城崎町は殆んど焦土と化して全滅し、その他の町村もたゞ々甚大の被害を蒙つたことを思へば、たゞに地方的被害であるのみならず、關東大地震災に次いで日本が受けた第二の大被害であつたと云へる。

今回の地震に就いて

神戸海洋氣象臺
須田技師談

今回の地震は圓山川河口の地下約五十キロの地点に起つた地すべりが震源である。震源地の發震は午前十一時九分五十五秒で、震源の直上に當る津居山附近の地震の強さは加速度二千三百乃至二千六百ミリメートル毎秒毎秒、震幅は二十五乃至三十ミリメートルで、豊岡に於いては之れより少し弱く加速度千三百乃至千六百ミリメートル毎秒毎秒、震幅二十ミリメートルであつた。關東大地震の加速度四千五百ミリメートル毎秒毎秒、震幅七十ミリメートルに比較すればすつと小さな地震であつたこと云へる。先づ今回の地震の強さは關東大地震の御殿場あたりと同じ程度のもので思へばよい。しかしその割合に被害の大きかつたのは、地質の關係に依るもので、即ち、圓山川に沿つて津居山、城崎、豊岡一帯の土地は比較的新しい脆弱な地層であるのに、其兩岸は、東は第三紀層であり、西は石英粗面岩、安山岩、玄武岩など、何れも比較的固い地盤から成つて居る。此の固い地層に取り巻かれた圓山川沿岸の弱い土地が所謂表面定常波（つまりタラヒ）の中に水を入れてゆすぶつたやうな（な）かたち）の状態に陥つた爲め實際以上に大きな波動を感じ、城崎、豊岡が割合大きな災害を被つたわけである。關東大地震よりも強い地震であつた様に傳えられたが實際はさうではなかつた。また被害區域も狭かつた。

主なる罹災調査

兵庫縣の被害

今回の地震は但馬國圓山川河口が震源地であつた爲め、河口に位する津居山、それから、少し上流の城崎、更に上流にさかのぼつて豊岡が最も激震を受け、此の三ヶ町村は殆んど全滅の憂目を見、尙ほ圓山川の流域にある約三十ヶ町村が尠からぬ被害を受けたのである。城崎豊岡の如きは中でも最も悲惨を極め、最初の大震動と共に城崎では百二十四戸、豊岡では五百二十九戸の家屋が倒壊し、相次いで起つた火災の爲め城崎では五百三十六戸を焼き、豊岡では一千五百八十三戸を焼き兩町は全く全滅してしまつたのである。兵庫縣下に於ける被害模様は左表の如くである。

城崎署管内

戸数	人口	倒壊	焼失	死亡	負傷	行方不明
城崎町	六〇	三、六九	二、四	五、一	三	三
津居山	三三	一、二	一、六	三	三	三
瀬戸	元	六〇	三	二	三	三
小島	八	三	四	一	一	一
氣比	一七	一、七	一、七	三	八	六
田結	五	五	五	一	七	七
加原	六	三	三	一	三	三
三原	六	一	一	一	一	一
内川	六	一	一	一	一	一
内谷	六	一	一	一	一	一
内村	六	一	一	一	一	一
内浦	六	一	一	一	一	一
結	七	一	一	一	一	一
上山	七	一	一	一	一	一
来山	八	一	一	一	一	一
竹野	八	一	一	一	一	一
合計	二、二八	二、九三	七、五	二、七	二、三	三

豊岡署管内

豊岡	二、二	二、七〇	五、九	一、六	三	七
五莊	六、九	三、五〇	四、五	一	二	三
田鶴野	四、四	二、五二	三	一	三	一
新田	四、九	一、八	四	一	六	一
八條	三、六	一、九	三	一	一	一
三江	四、四	二、四九	二、五	一	一	一
合計	四、五	三、四	七、五	一、六	二、七	七

出石署管内

室地	七	三、四	一	一	一	一
小阪	九	二、三	五	一	一	一
神美	九	四、三	二	一	一	一
出石	一、三	四、九	三	一	一	一
合計	三、〇	一、四	三	一	一	一

香住署管内

香住	九	一、八	八	一	一	一
----	---	-----	---	---	---	---

永井	三	一、八	一	一	一	一
口佐津	五	三、七	九	一	一	一
合計	一、三	六、五	六	一	一	一

村岡署管内

射添	一、〇〇	四、五	一	一	一	一
合計	一、〇〇	四、五	一	一	一	一
總計	三、二	一、五	二、八	一、六	一、五	一

右被害地に於ける官公署其他の罹災状況は左の如くである。

官公署其他罹災状況調

五月二十六日 午後十二時

城崎警察分署管内

城崎町	役場	全	燒
城崎小	學校	全	燒
城崎停	車場	全	倒
港東小	學校	大	破
城西小	學校	全	破
城崎警	察分署	全	燒
豊岡區	裁判所城崎出張所	全	燒
樂々浦	小學校	倒	壞
城崎郵	便局	全	燒
上山小	學校	傾	斜
玄武洞	及竹野停車場	小	破
内川村	役場	全	破

豊岡警察署管内

豊岡郵	便局	全	燒
豊岡停	車場	半	壞
豊岡警	察署	全	燒
豊岡小	學校	小	破
豊岡中	學校	全	破
城崎郡	役所	全	破

京都府被害

尙ほ京都府下に於いて久美濱町を主としてその他にも多少の被害があつたが兵庫縣下に比較すれば非常に範圍も狭く被害も輕微である。

京都府被害表

郡	死者	傷者	全潰	半潰
竹野郡	一	一	三	一七
熊野郡	七	一	一	一
久美濱	一	一	一	一
上佐濃	一	一	一	一
湊野	一	一	一	一
神野	一	一	一	一
合計	八	五〇	六三	一六八

各地の救護班

豊岡城崎全滅の報至ると同時に兵庫縣京都府大阪府等の當局は直ちに救護班を編成して震災地に派遣し傷病者救護に當つたこと左表の如くである。尙大阪毎日新聞社もいち早く救護班を急行せしめ慰問品を急送するなど敏活迅速の所置に出た事は云ふまでもない。而して救護班の懸命なる努力に依り二十五日に至つては既に震災地に於ける傷病者の手當救護は大體に於いて遺憾なきまでに行渡つた。

救護班派遣表

五月二十五日正午調

救護班名	班数	編成内訳		
		醫員	薬剤師	書記
兵庫縣救護班	六班	六	三	六
恩賜濟生會兵庫支部	一班	二	一	一
日本赤十字社兵庫支部	第一班	二	一	一
同	第二班	二	一	一
同	第三班	一	一	一
神戸市役所	四班	四	一	一
神戸市醫師會	一班	一	一	一
兵庫縣醫師會	一班	一	一	一
在郷軍人會明石分會	一班	一	一	一
日本赤十字社大阪支部	一班	一	一	一
大阪府	一班	二	一	一
京都府	二班	二	一	一
日本赤十字社京都支部	二班	三	一	一
同 鳥取支部	一班	一	一	一
同 岡山支部	一班	一	一	一
大阪逓信局保險課	一班	一	一	一
大阪毎日新聞社	三班	五	二	二
合計	二九班	三五	六	二五

看護卒 四 六 六 八 八 一〇 八 六 二

警部 二 事務官 一

陸海軍隊派遣

陸軍及び海軍から夫々軍隊を派遣して罹災者の救護、道路橋梁の復舊工事、治安維持等に當らしめたがその人員及び軍艦名隊名などは次の如くである。

軍隊派遣部署

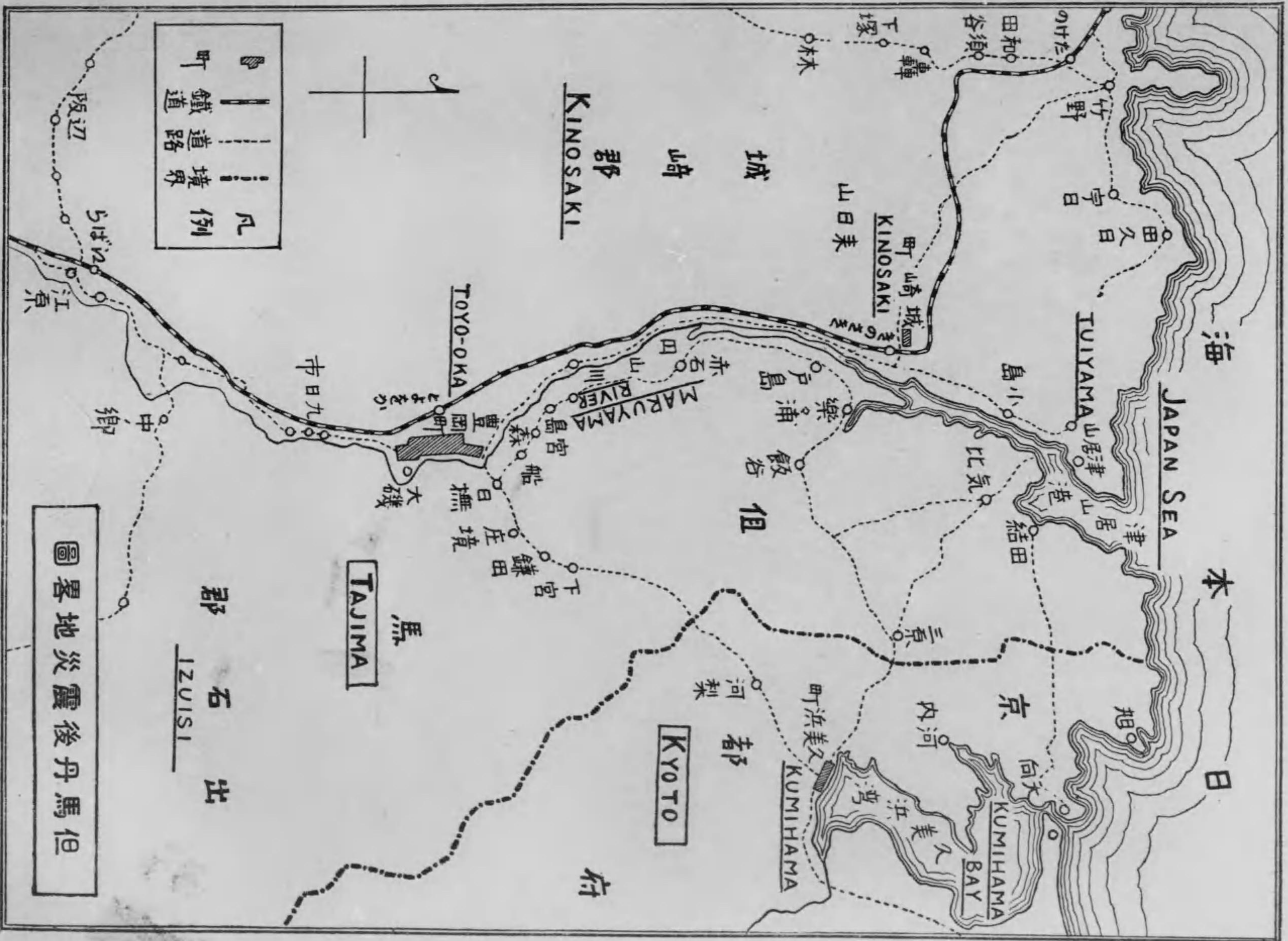
軍種	部隊名	人員
陸軍	憲兵 烏取憲兵分隊	伍長一、上等兵三
	憲兵 姫路憲兵分隊	少佐一、伍長一、上等兵八
	憲兵 本隊	曹長一
	歩兵 福知山歩兵第二十聯隊	一ヶ中隊 少佐以下 七〇
	歩兵 鳥取歩兵第四十聯隊	一ヶ中隊 少佐以下 一一六
	姫路歩兵第三十九聯隊	一ヶ中隊 少佐以下 八四
	工兵 岡山工兵第十大隊	一ヶ中隊 少佐以下 八〇
	舞鶴軍 軍艦 櫻、海風、春日、嵐	四艘
	海軍 港所屬 救護班 姫路衛戍病院 二班、一等軍醫以下八〇	

勅使御差遣

北但地方の震災の惨状を聞き召され、天皇皇后兩陛下攝政宮殿下には深く之を御軫念あらせられ、畏くも優渥なる御沙汰を賜ひ黒田侍従を御差遣はし相成つた。黒田侍従は宮内屬二名を従へて廿六日、戸に着し兵庫縣廳に至つて平塚知事に聖旨を傳へ救恤御下賜金三萬五千圓の傳達を了した上、知事を案内役として震災地實地視察慰問に向つた。罹災民は何れも聖旨の有難さに感激せざるはなかつた。(京都府下へも同時に金二千五百圓下賜せらる)

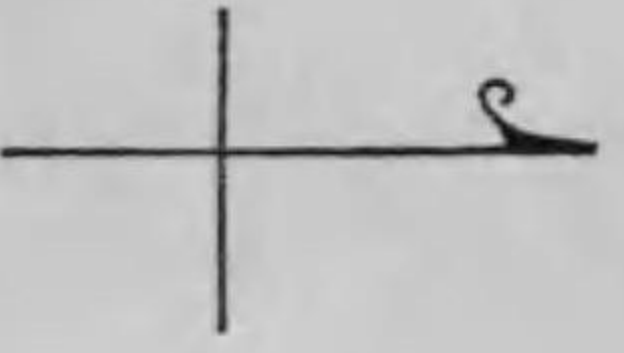
CONTENTS

1. The Earthquake recorded by Kobe and Kyoto Seismographs
2. All that remains of Kinosaki, the famous Hot-spring
3. Refugees in the Play-ground of Toyo-oka Primary School
4. Kinosaki before the Earthquake
5. Toyo-oka photographed from our Aeroplane (May 23)
6. A Night-scene at Toyo-oka
7. Refugees on the River Maruyama: Our Hydroplane at Kumihama
8. Activities of the Kinosaki Young Men's Association
9. Girls of the Toyo-oka Girls School: A Buddhist Priest
10. Ruins of the Town of Toyo-oka
11. Teramachi-dori, the Main Street of Toyo-oka
12. A Body among the Debris at Kinosaki
13. Terror-stricken Refugees passing the First Night
14. Smouldered Ice, Remains of an Ice Store-house at Kinosaki
15. The Quake makes Three-storeyed Hotel Two-storeyed
16. The First Train leaves Kinosaki
17. Activities of the Osaka Mainichi Relief Party
18. Collapsed House in Toyo-oka: Firemen keeping Lookout
19. Bodies carried to an Open Ground at Toyo-oka
20. Street-scenes at Toyo-oka
21. Searching in the Debris for Bodies
22. A Crack on a Street at Kinosaki
23. Railway Stations at Kinosaki and Toyo-oka
24. Near Toyo-oka Station
25. A Scene at Kumihama and Cracked Shrine-grounds at Toyo-oka
26. Refugees in Front of Toyo-oka Primary School
27. Tsuiyama and Toyo-oka
28. Picking Up the Bones of Those Burned to Death
29. Kinosaki photographed from Onsen Hill
30. Gembudo damaged by the Earthquake
31. Kinosaki Geisha-girls (Refugees) at Toyo-oka
32. Activities of Soldiers and Red Cross Nurses
33. Refugees in Bamboo Grove: Shacks on Railway Tracks
34. Two Photographic Sketches from Kinosaki
35. Searching for Bodies in the Ruins of a Kinosaki Hotel
36. Utsubo Women's Club and Relief Fund by Popular Contribution
37. Reconstructing Ichinoyu Hot-spring at Kinosaki
38. Shacks and Barracks at Toyo-oka and Kumihama
39. Chamberlain Kuroda and His Party at Toyo-oka
40. Under Home Secretary Kataoka inspecting Kinosaki
41. Memorial Services at Kinosaki and Toyo-oka
42. Activities of Various Organizations at Kinosaki and Toyo-oka
43. Crowded Platform of Kinosaki Railway Station
44. Ruins of Kumihama Primary School
45. Various Placards seen at Toyo-oka
46. Ichinoyu, Kinosaki, already made Use of.
47. Refugees arrive in Osaka



Butsuma no Kuni no Shinjiki Zu

凡例
 境界
 道路
 鐵道
 町



KINOSAKI
 城崎郡

馬
 TAJIMA

石出
 IZUISI 郡

KYOTO
 京都府

KUMIHAMA
 久美濱

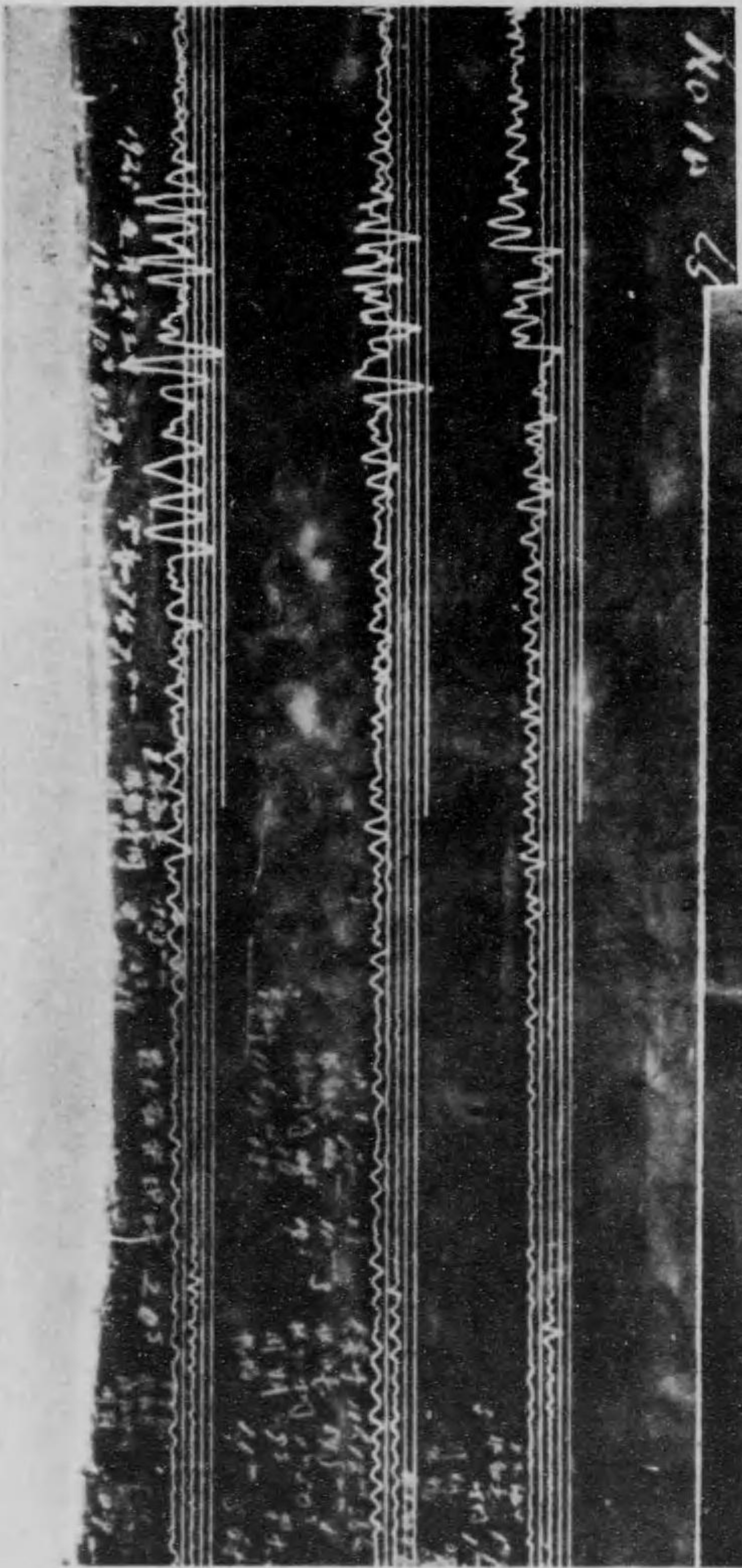
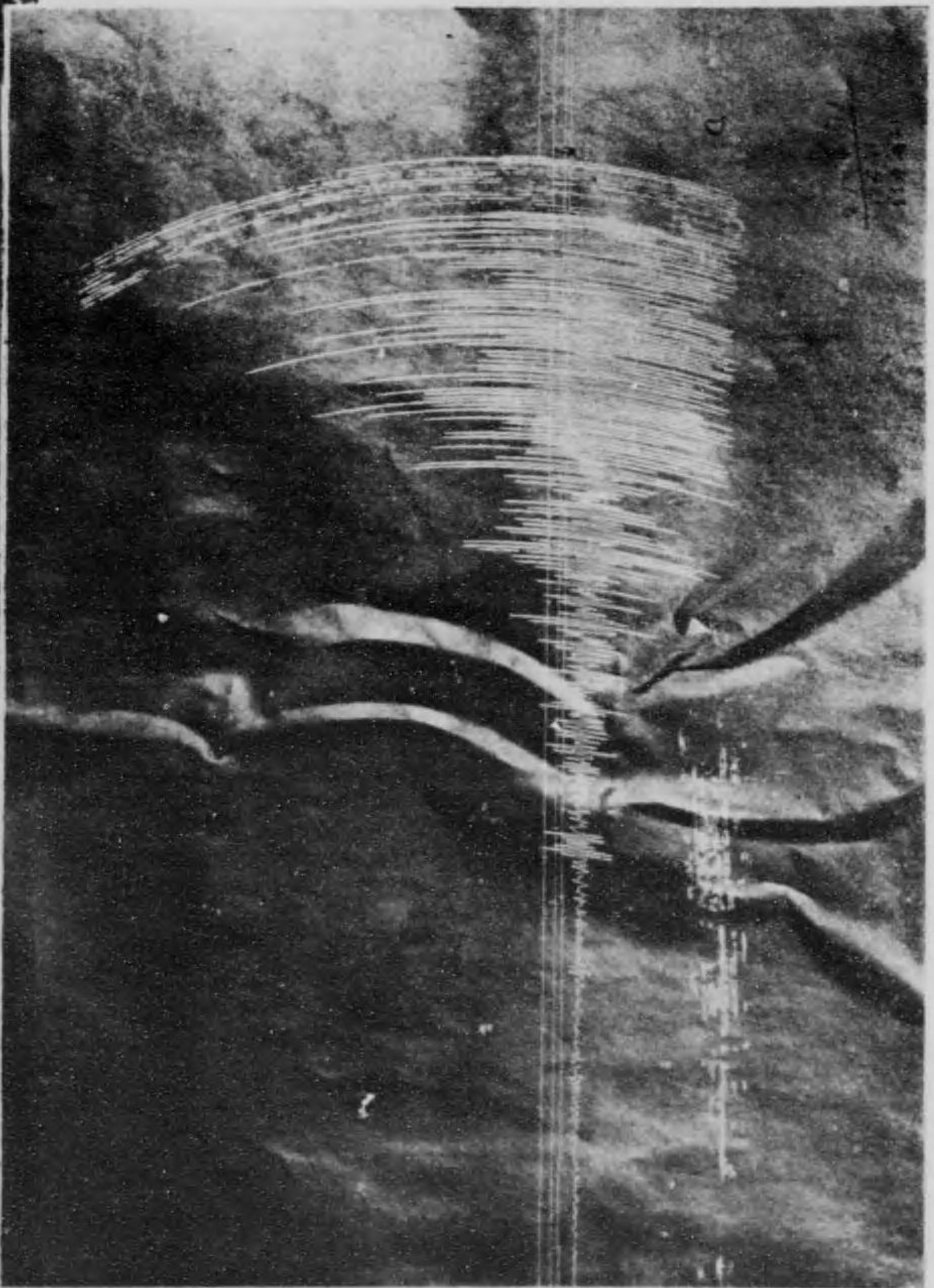
KUMIHAMA BAY
 久美濱灣

相模灣

日本海 JAPAN SEA

田和谷 野竹 宇日 田久日 山崎城 山日末 山崎町 赤石山 戸島 樂浦 船島 豐岡 大磯 日無 庄境 鎌田 下宮 三京 河梨 町流美又 内河 向大 津居山 比氣 島小 津山 結田 田野 田和谷 下塚 林 阪辺 江泉 中郷

神戸及び京都の地震計に感じた記録



震地ドツペ井ウの台象氣洋海戸神、秒二分十時一十前午日三十二月五)リニ至乃リニ一幅震(上)
(の)もたじ感に計
下上(上)、の)もたじ感に計震地通普式ソルニの所候御都京、秒一分十時一十前午日三十二月五(下)
○動北南の動平水(下)動西東の動平水(中)動
The earthquake as it was recorded by Seismographs (Top: Kobe; bottom: Kyoto)



the once famous hot spring resort of Japan.

跡焼大泉温崎城るため眺りよ近附湯蔵地



All that remains of Kinosaki the once famous hot-spring resort of Japan.

跡焼大泉温崎城るため



ooka primary school.

れ群の者難避たつ集に庭々校學小岡豊てれ逃を(景背)町るあ、つえ然に盛



Refugees in the playing-ground of the Toyo-oka primary school.

れ群の者難避たつ集に庭々校學小岡豊てれ逃を(景背



Kinosaki before the earthquake

場泉温崎の城の前災震



Teyo-cka photograph d .rcm Osaka Mainichi ae:q lane (May 23 3 p.m.) (時三后午日三十二)災火大の岡豐るた見りよ上機行飛の社本



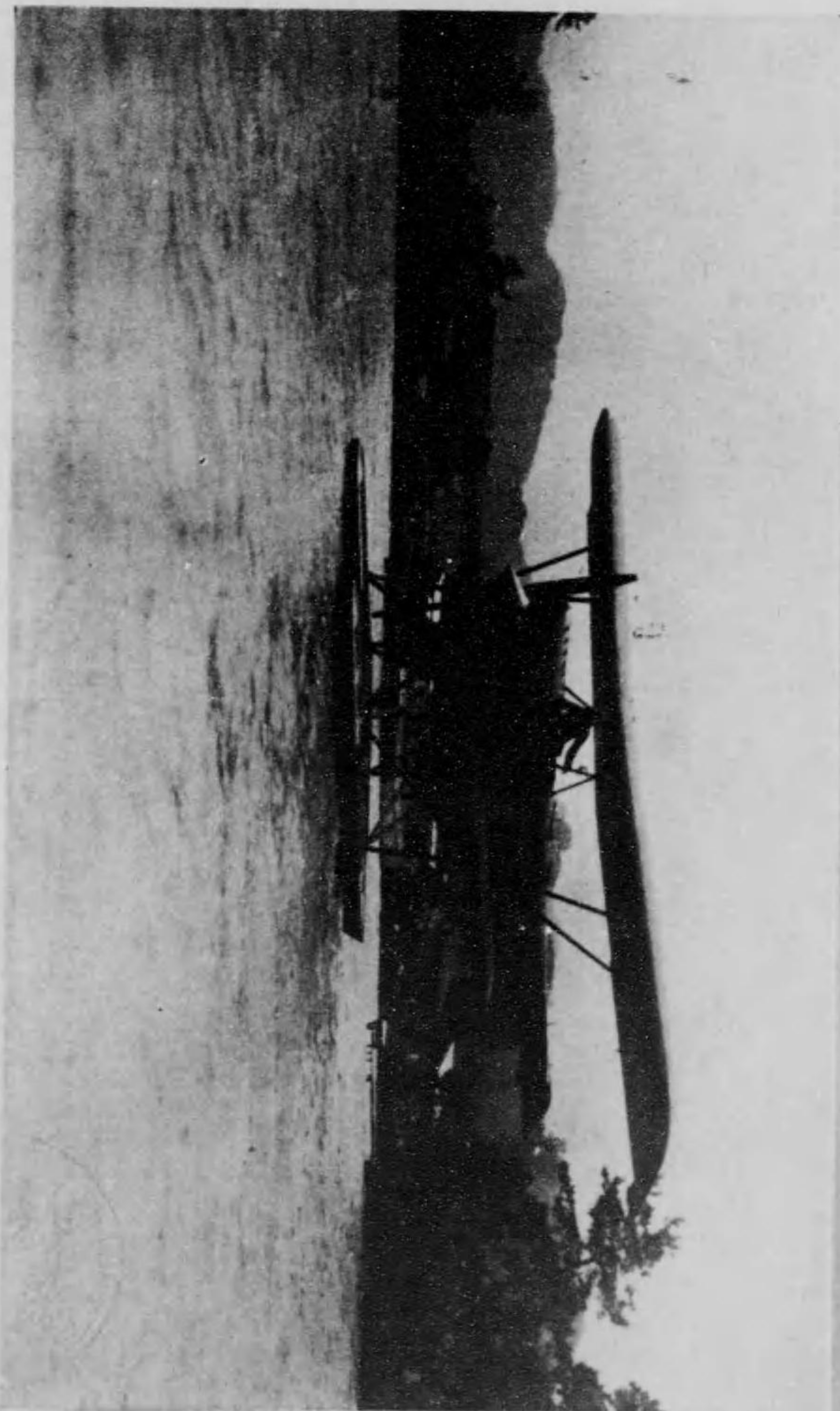
A night-scene at Toyo-oka (May 23)

豊岡駅前か見た火の手

Refugees on lofts (the River Maruyama at Toyo-oka)



船に避難した人々 (豊岡園山川)



大阪毎日の川西式七型水上機 (於久美濱)

The Osaka Mahichi hydroplane at Kunitama.



Activities of the Kiriosaki Young Men's Association.

動活の團年青崎城



く泣皆生學女たつ飯らか行旅學修の京東

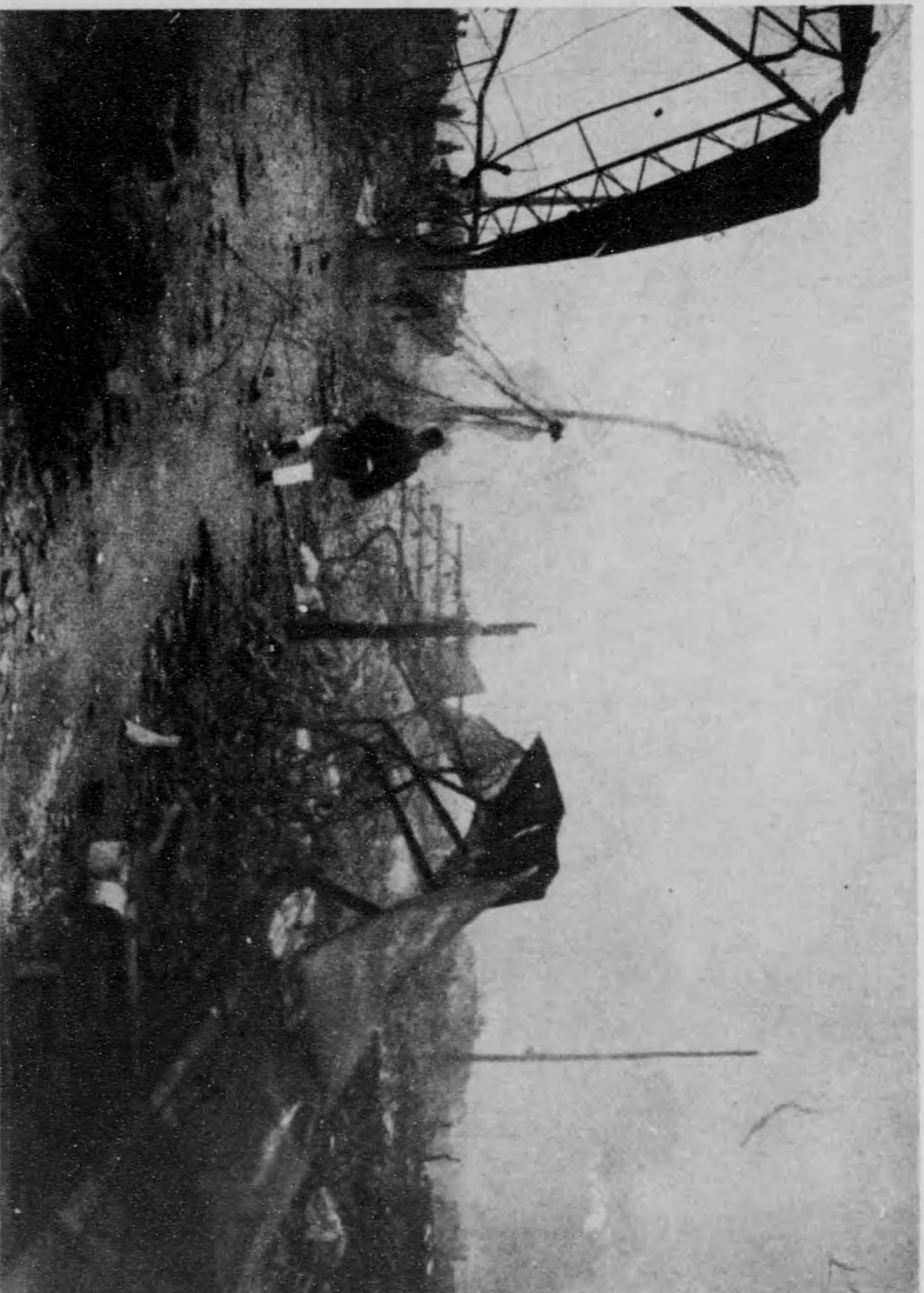
Girls of the Toyo-oka girls school return home from an excursion to Tokyo to find the town completely destroyed by quake and fire. (Toyo-oka)

僧志篤るす向回に跡焼

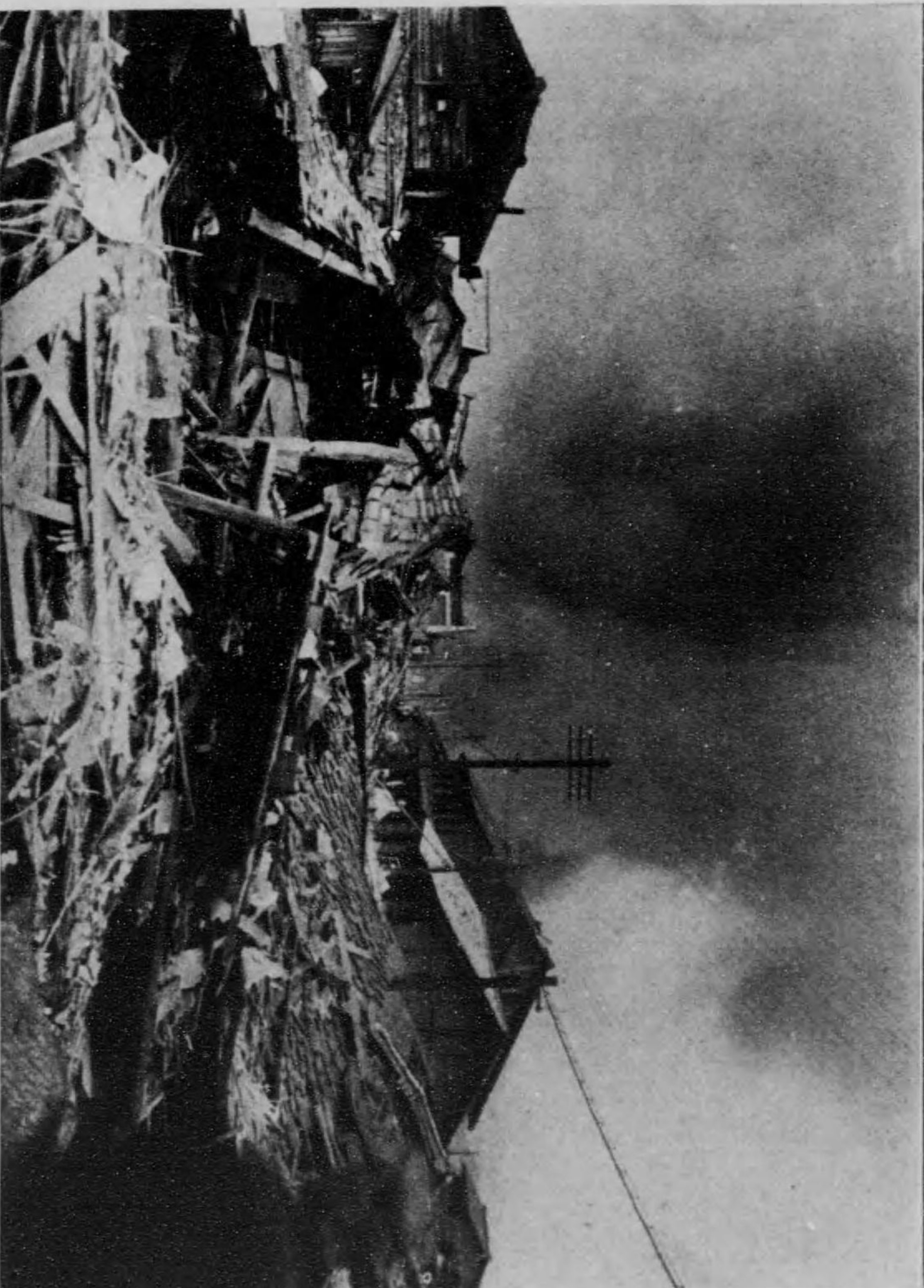
A Buddhist priest offering a prayer
(Kinosaki)



What used to be the main street of Toyooka.



豊岡中通りの焼跡



豊岡町驛前の倒潰

In front of Toyooka R.R. station. Conflagration still raging in the background

跡焼のり通町寺き貫目の岡豊



Teramachi-dori, the main street of Toyooka.

Teramachi-dori, Toyooka.



た來出が理整の路道
り通町寺岡豊



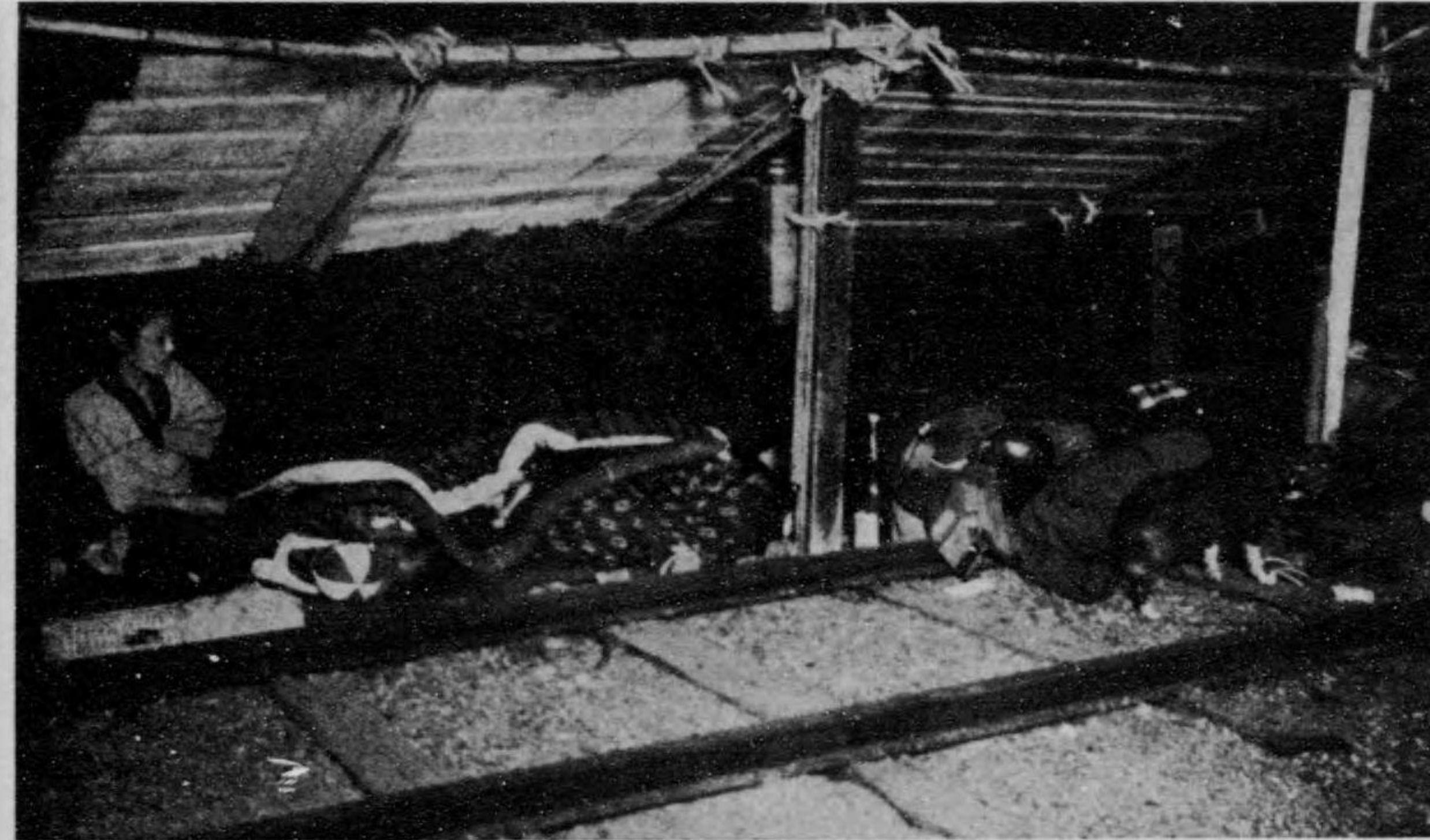
A body (centre) among the debris along the Kitosa ki River.

城崎河の屍體

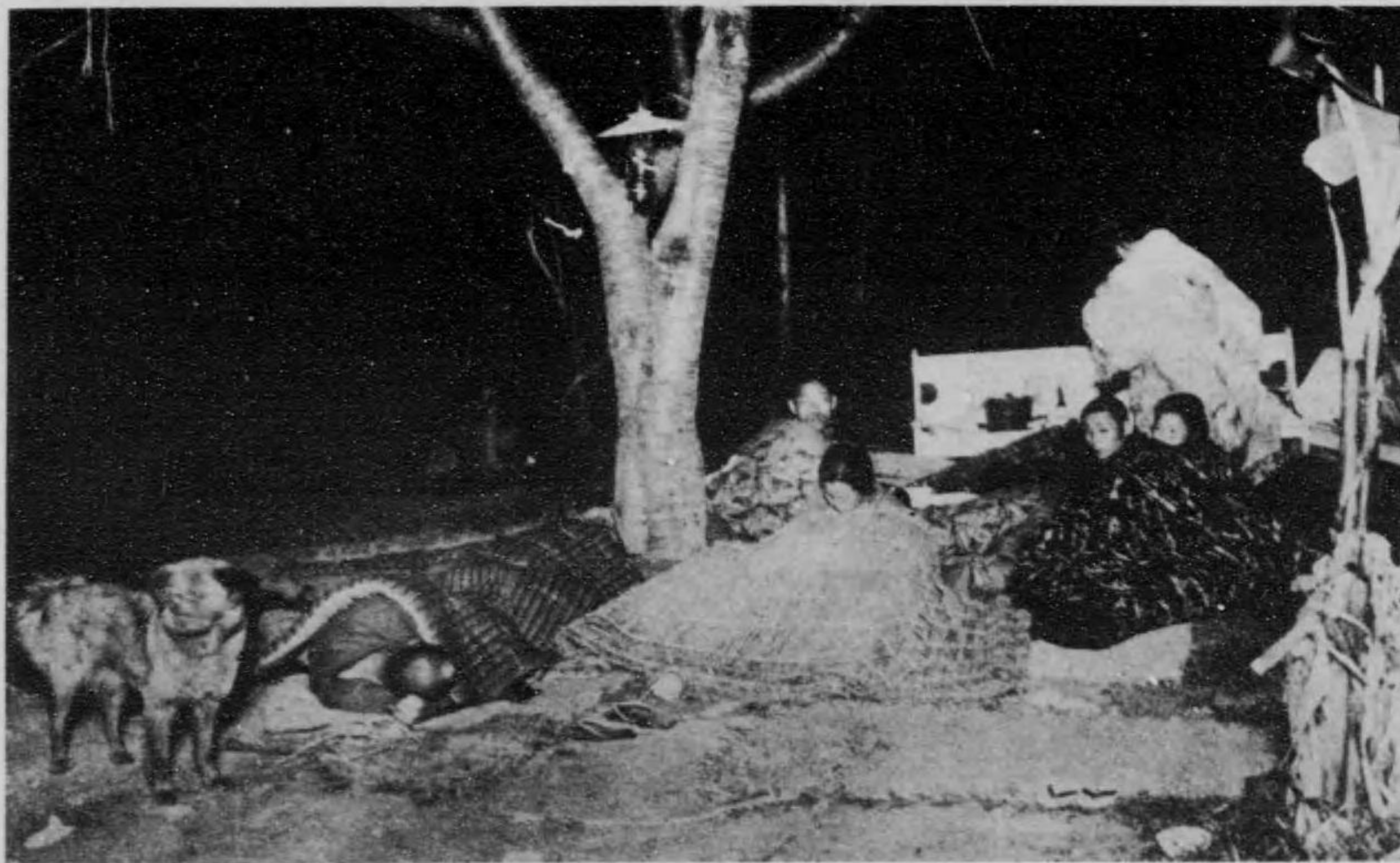
Terror-stricken refugees spending a wakeful night on the Railroad track near Toyo-oka.



レールの上に寝る避難者

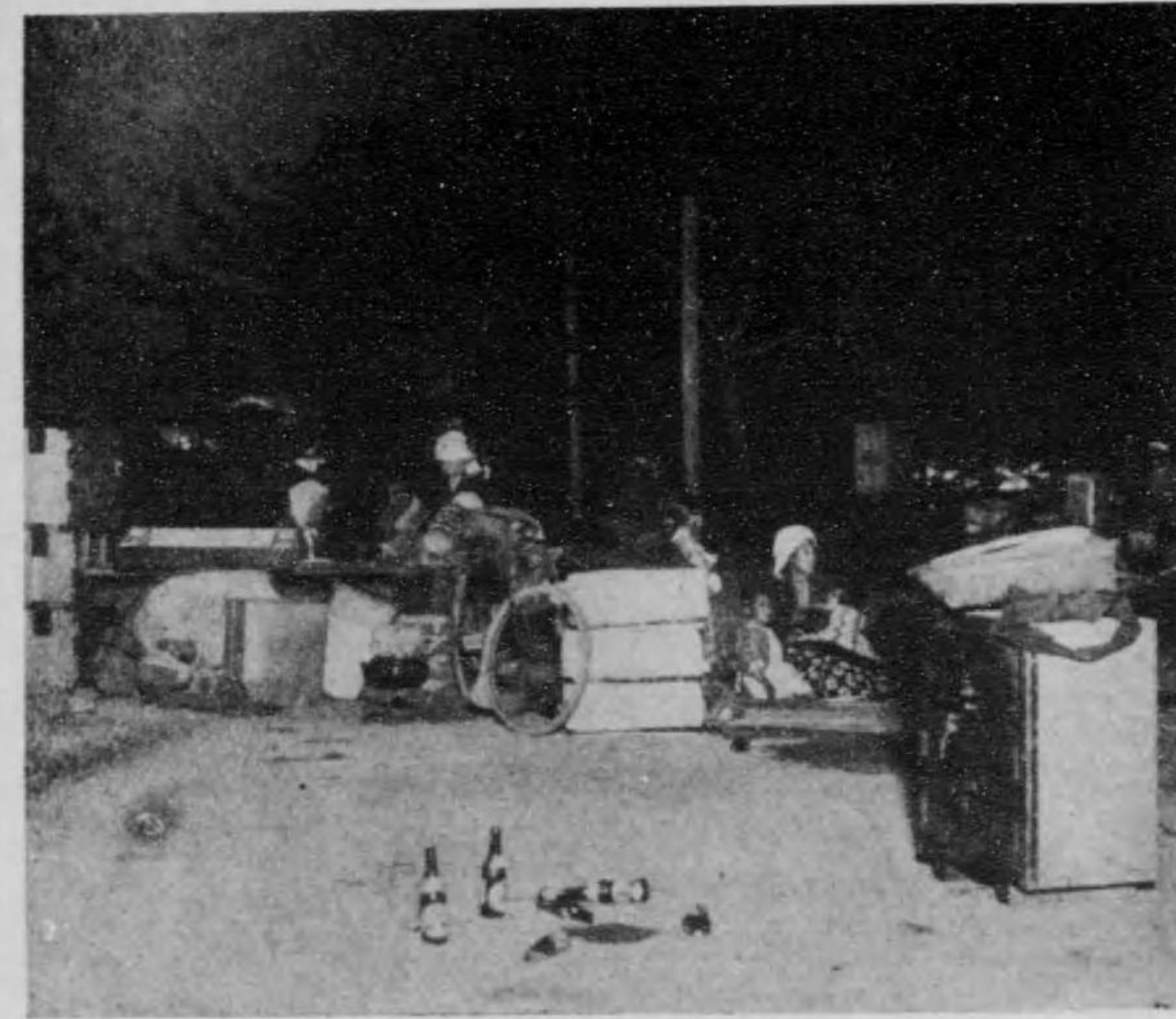


レールの上に寝る避難者



城崎薬師寺内の避難者

Refugees in Yakushi-ji temple grounds. (Kinosaki)



豊岡小學校の廣場における避難者

Refugees in the primary school grounds. (Toyo-oka)



Smould red ice. Remains of an ice storehouse near Kinosaki station.

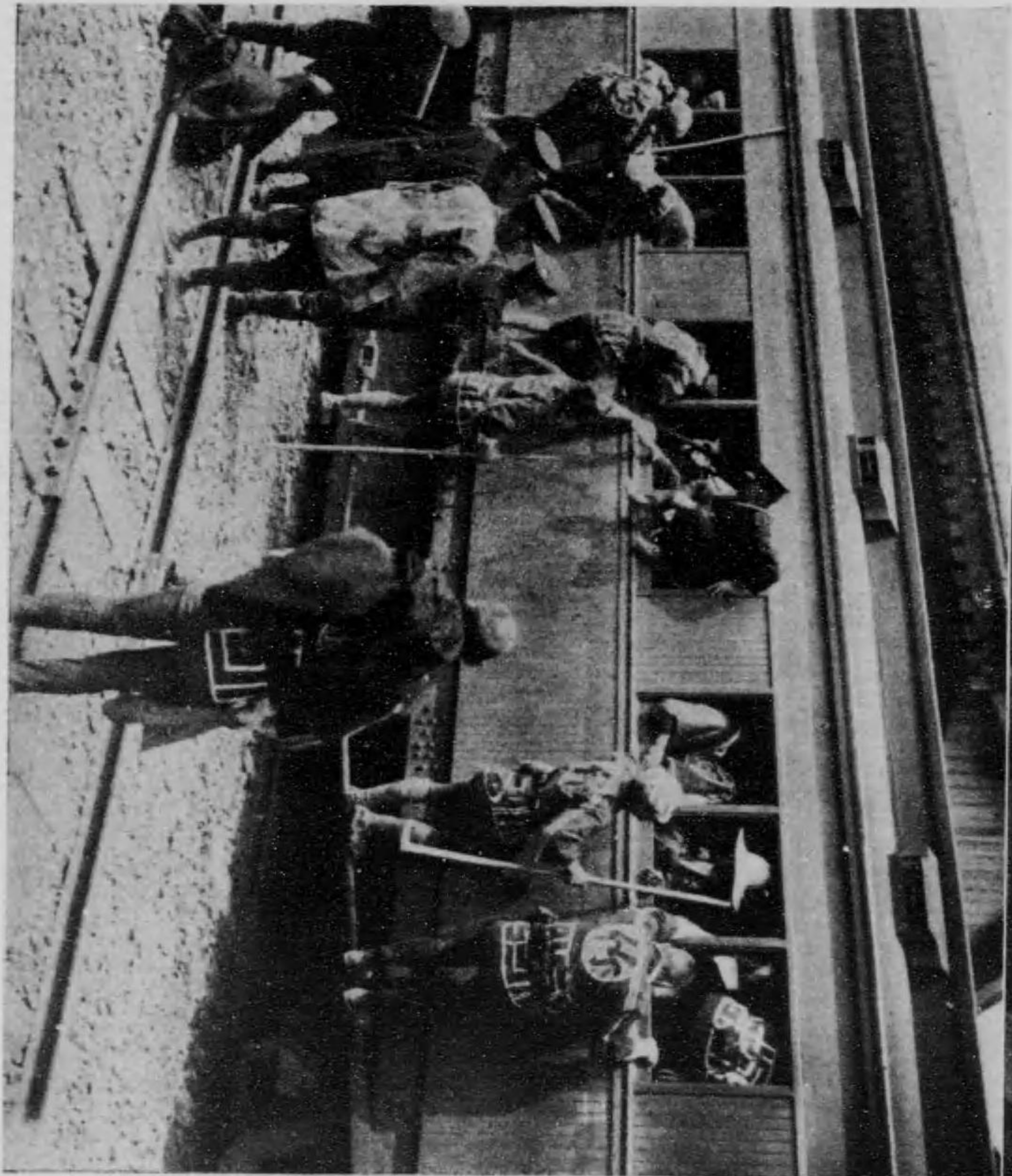
前驛崎城=山の氷たつ煙に跡焼の庫倉氷製



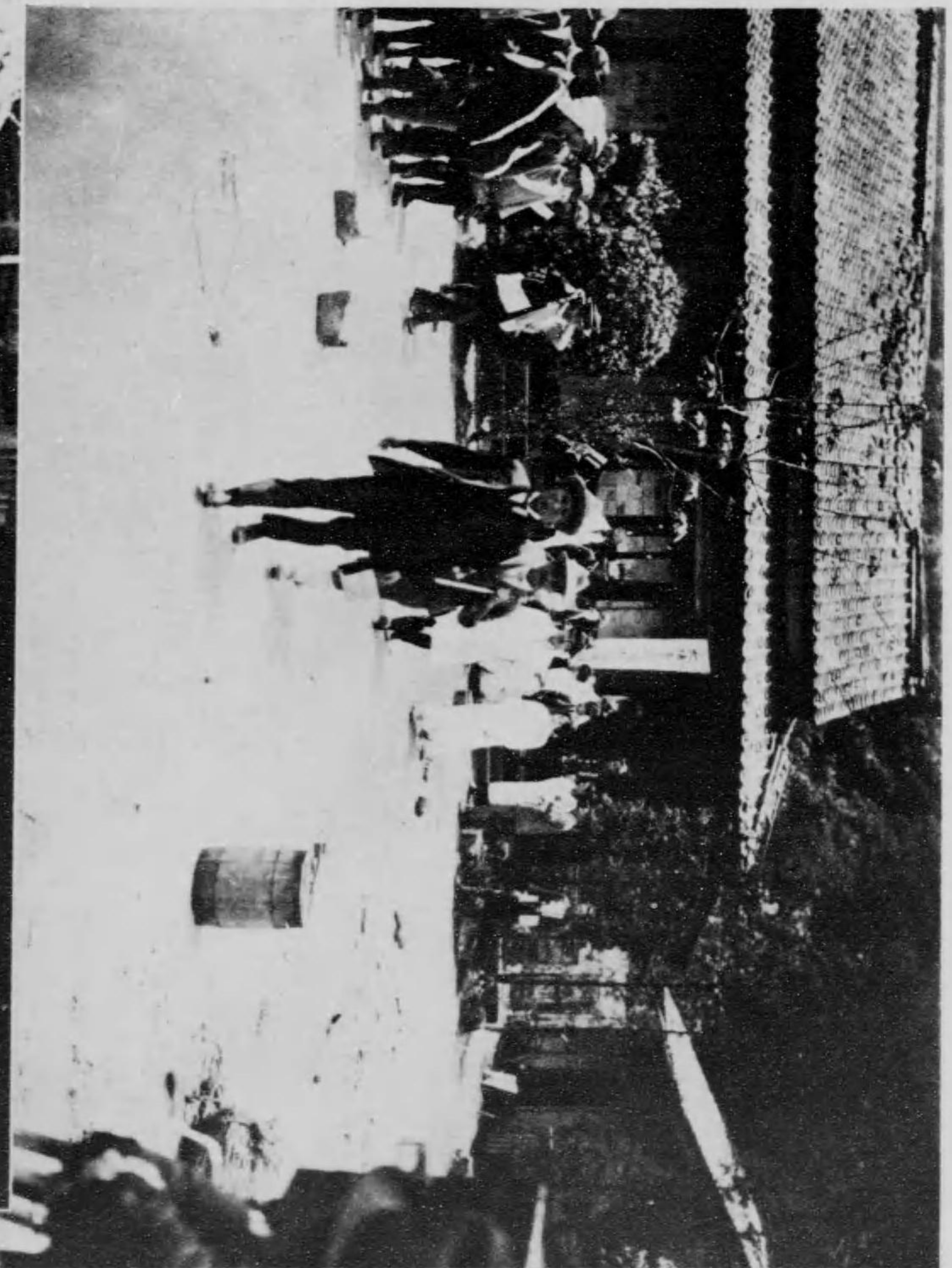
Three-storeyed hotel turned into a two-storeyed house (Kinosaki) (のもたれ潰がけ丈下の建階三) 館旅泉温の崎城



城崎發の列車にあふれる避難者の群れ

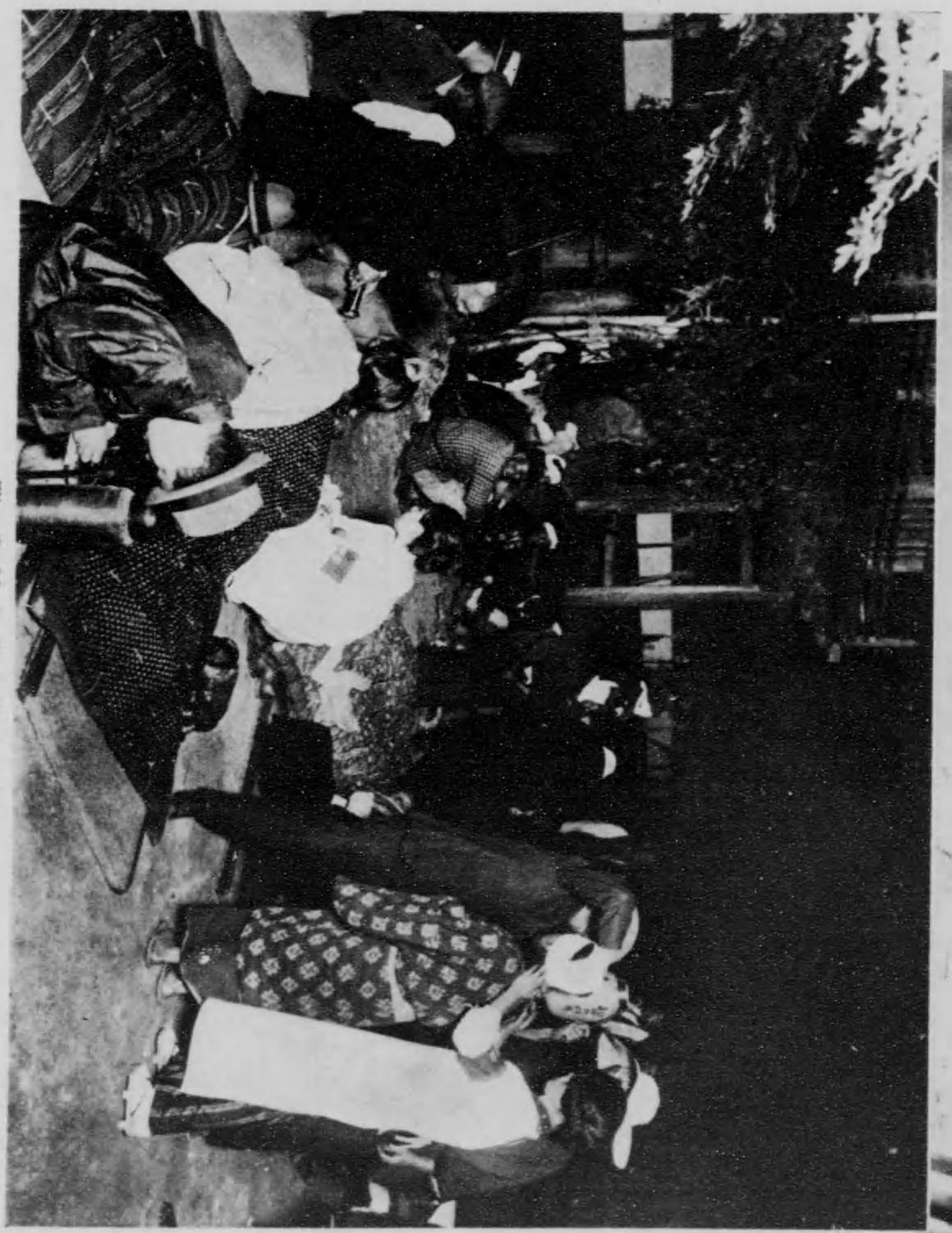


The first train leaving Kinosaki



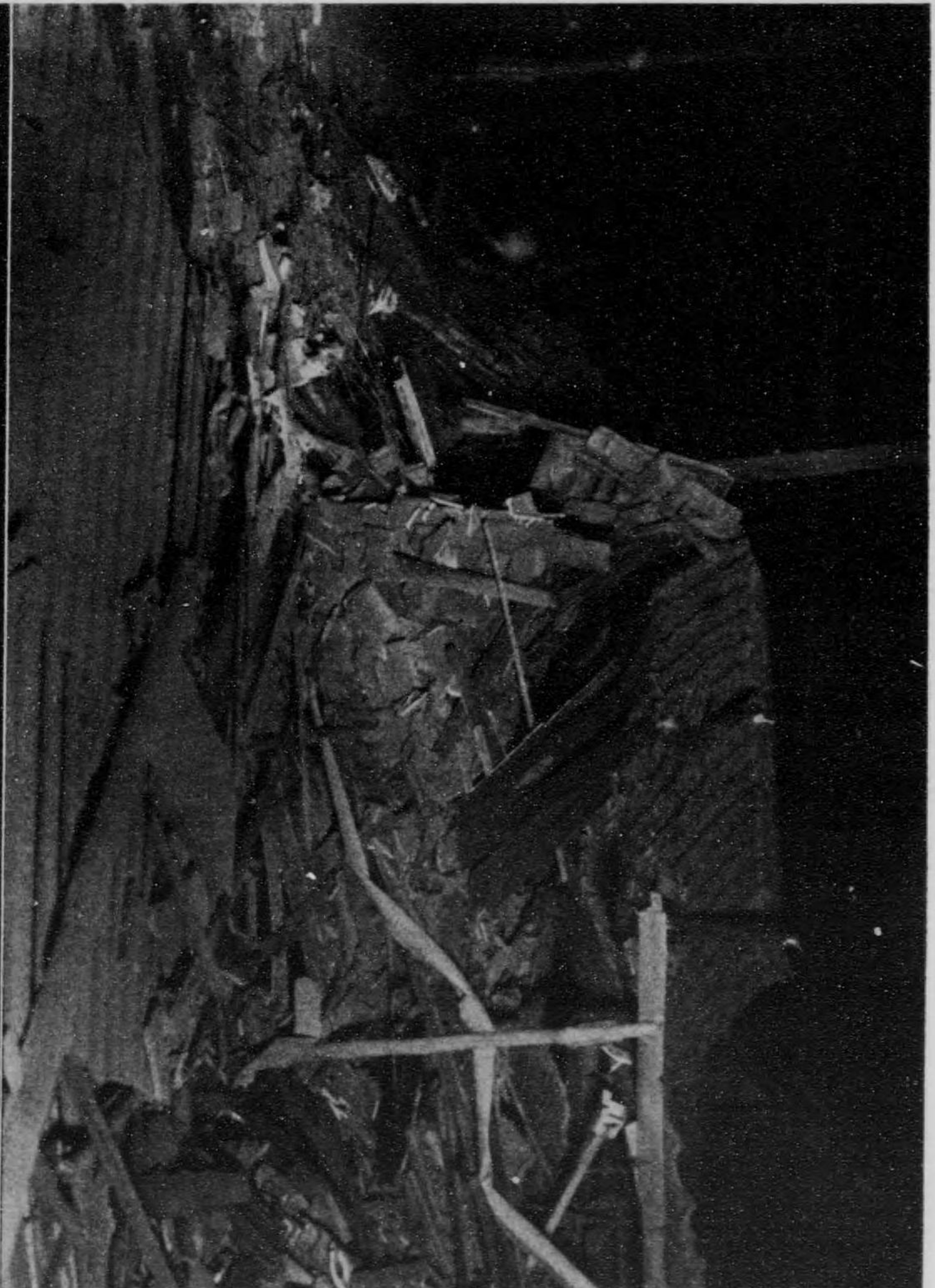
Headquarter of the Osaka Mainichi Keifai Party at Toyo-oka.

豊岡における大阪毎日新聞社救護班本部



城崎極楽寺の大阪毎日新聞社救護班

The O. M. R. P. at Kinoshiki



A collapsed house in Toyooka

豊岡町の倒壊家屋



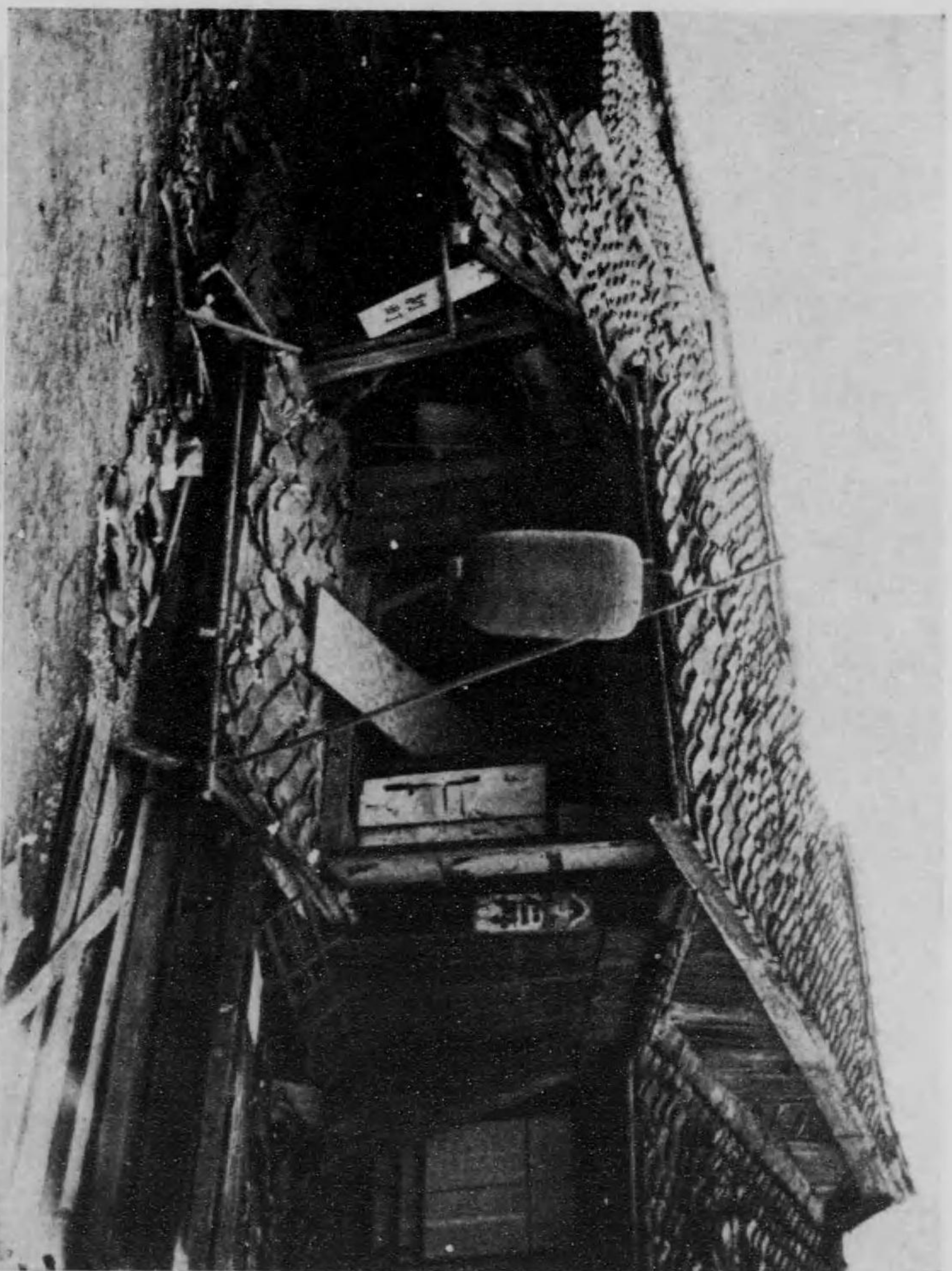
消防夫の警戒（豊岡）

Firemen keeping a sharp look-out. (Toyooka)



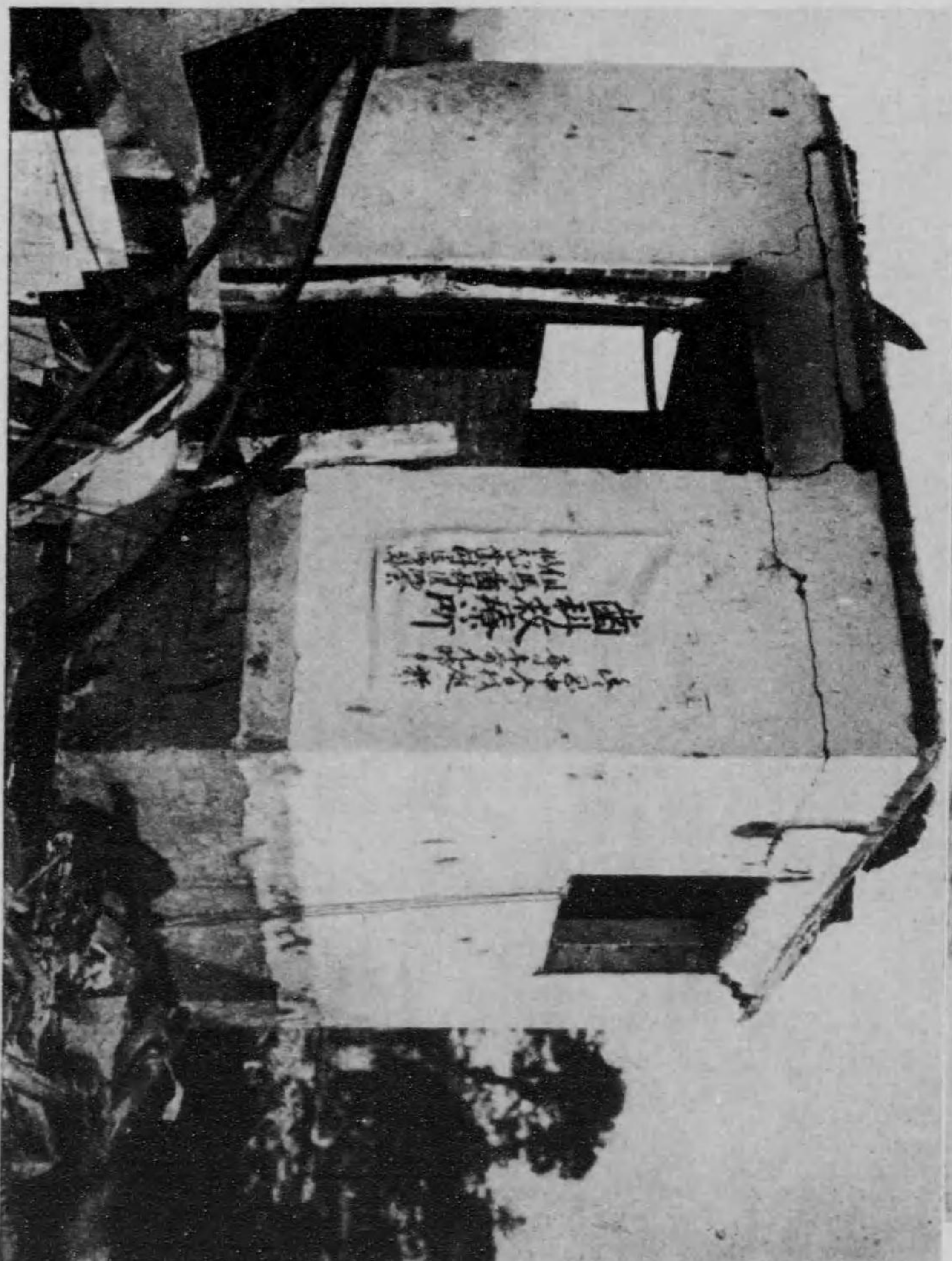
Bodies carried to an open ground (Toyo-oka)

豊岡永井町の集められた屍体



A two storeyed house near Toyo-oka station.

豊岡驛前通り二階家の倒壊



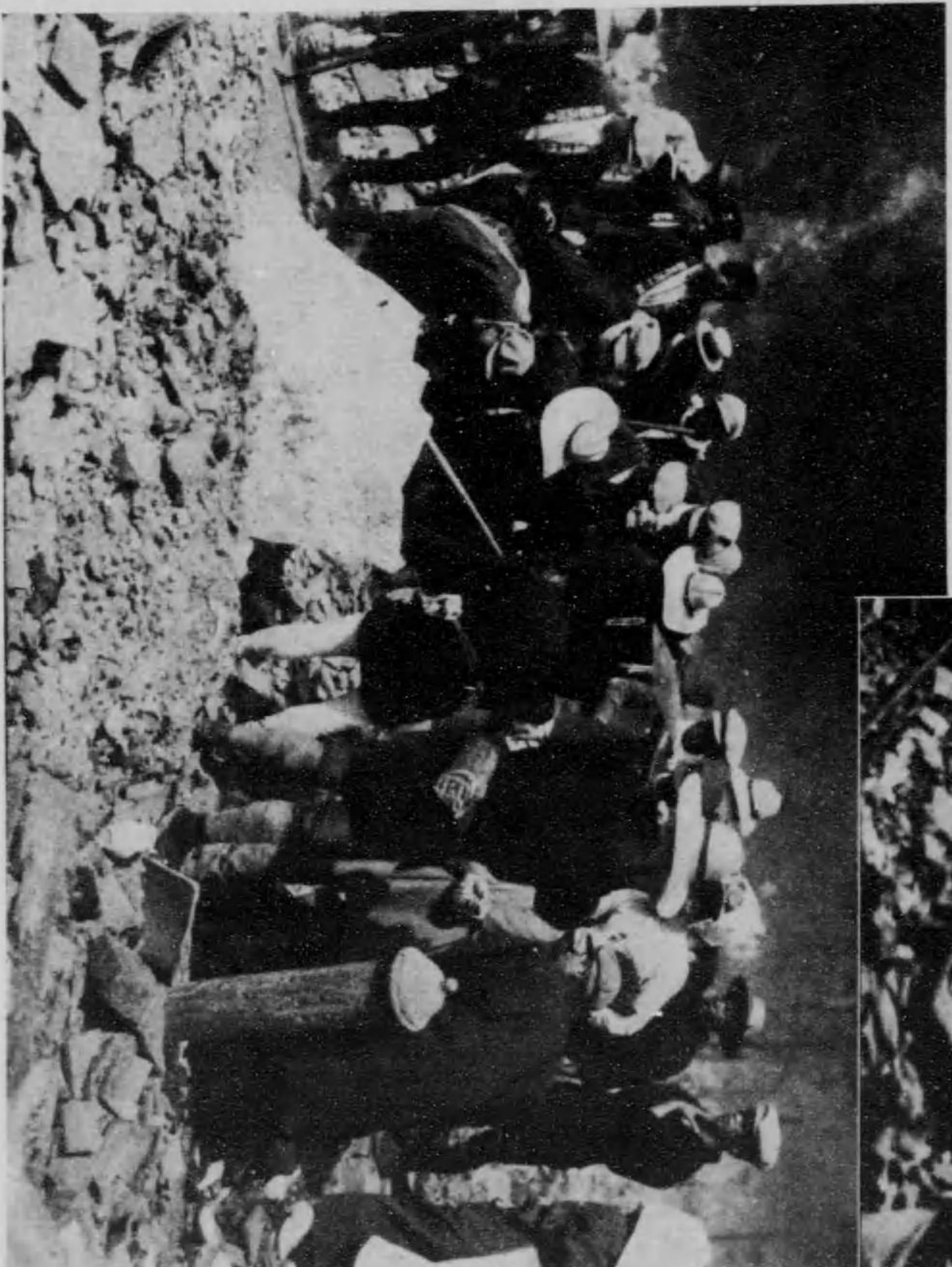
齒科救療所の貼紙

A bill plastered by Tajima and Fukuchiyama (artists Association, (Toyo-oka)

Near Kinosaki Railroad station.

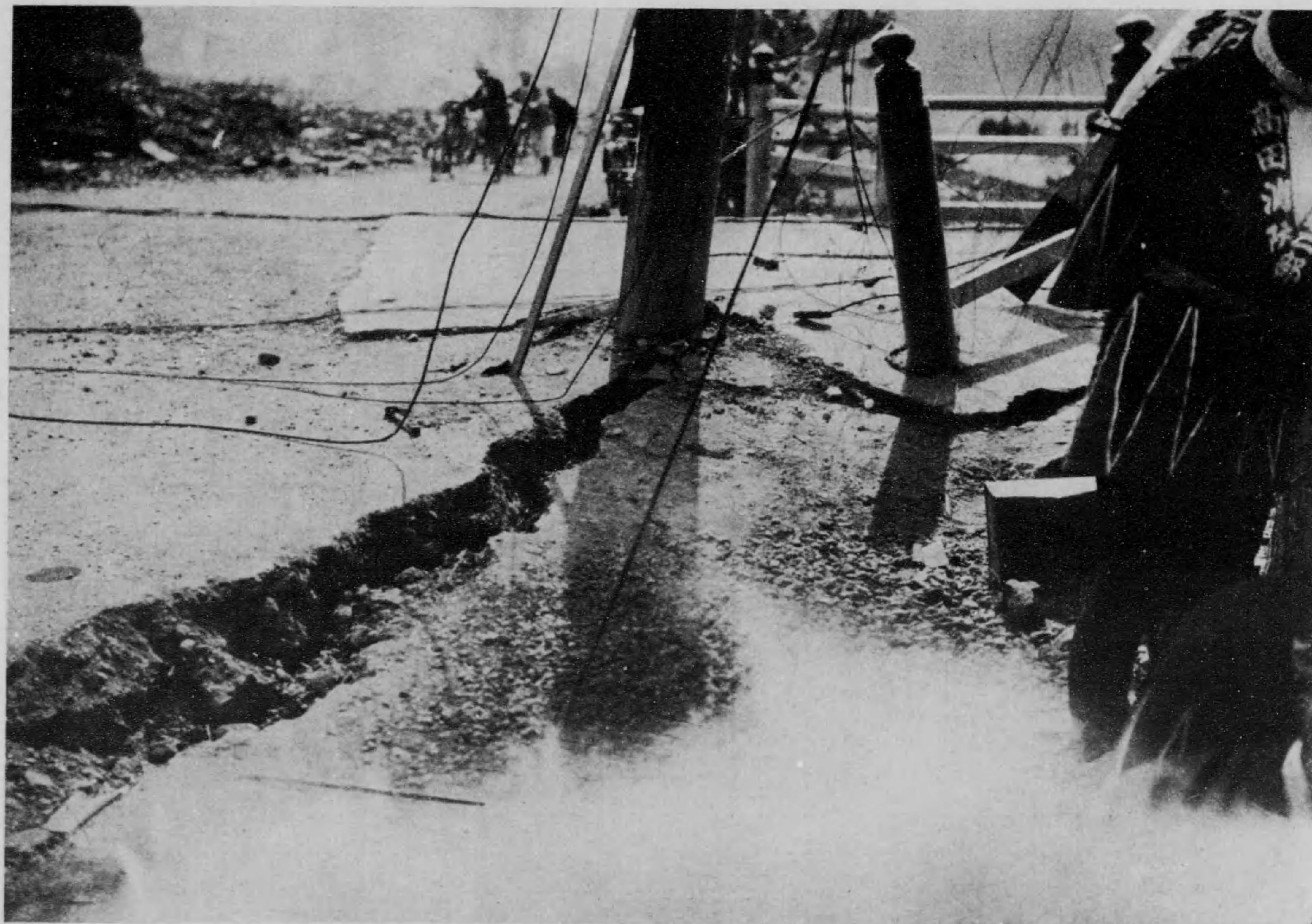


城崎驛前の焼跡



Searching in the debris for bodies. (Kinonaki)

焼跡の死体を捜す(城崎)



A crack on the street leading to Jizoyu spring Kino-aki.

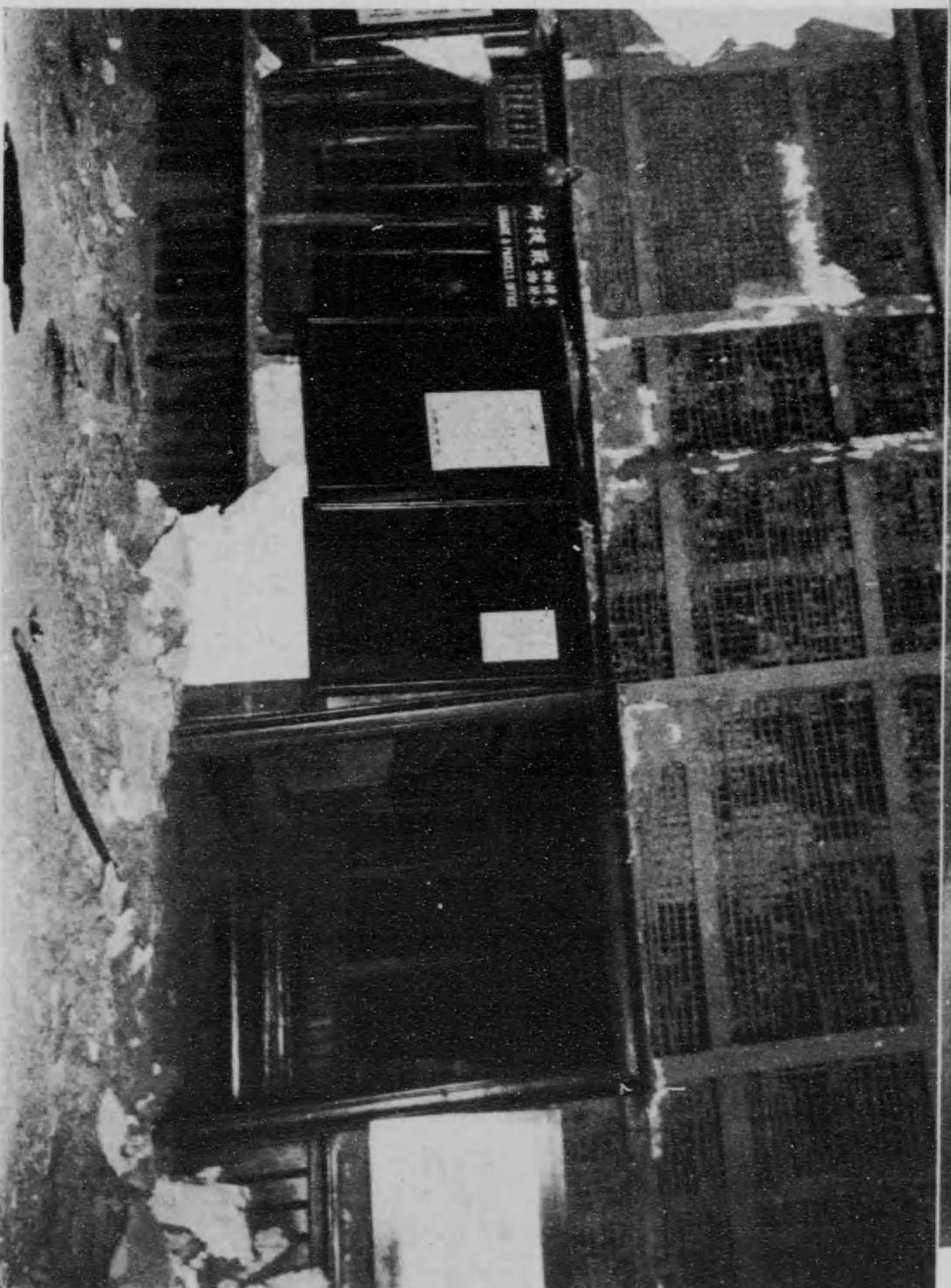
裂龜の路道く行へ湯藏地崎の城

Kinosaki station



半潰の城崎驛

半潰の豊岡驛待合室



Toyooka station (Passengers' waiting-room)



Near Tcyo-oka station

豊岡駅前通り被害



裂龜の内境社神吉日岡豊
Cracks caused by the earthquake.
(Hiyoshi shrine, Toyo-oka)

屋家潰倒の前校學小濱美久
Collapsed houses (Kumihama)

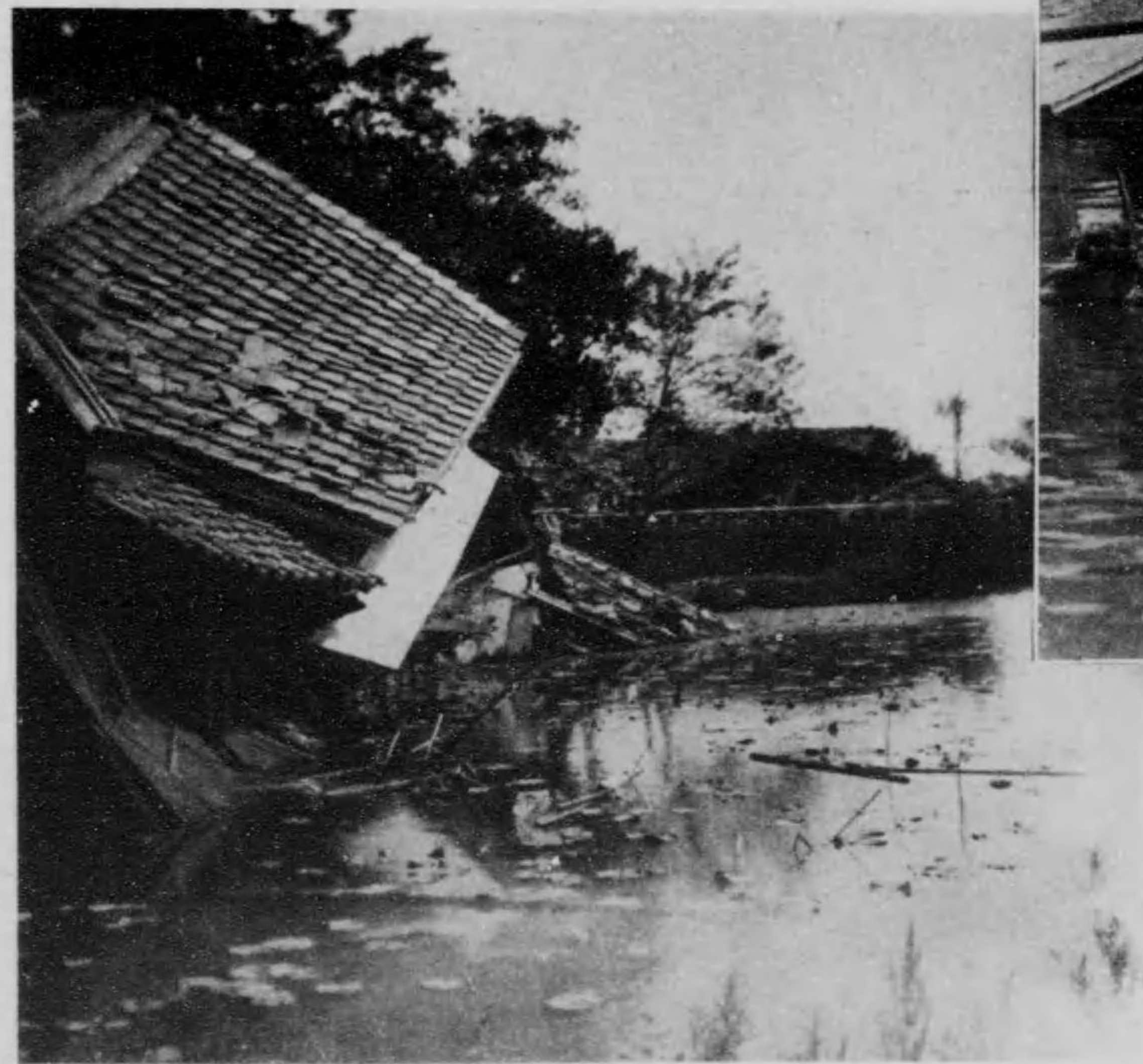




Refugees in front of the Toyo-oka primary school

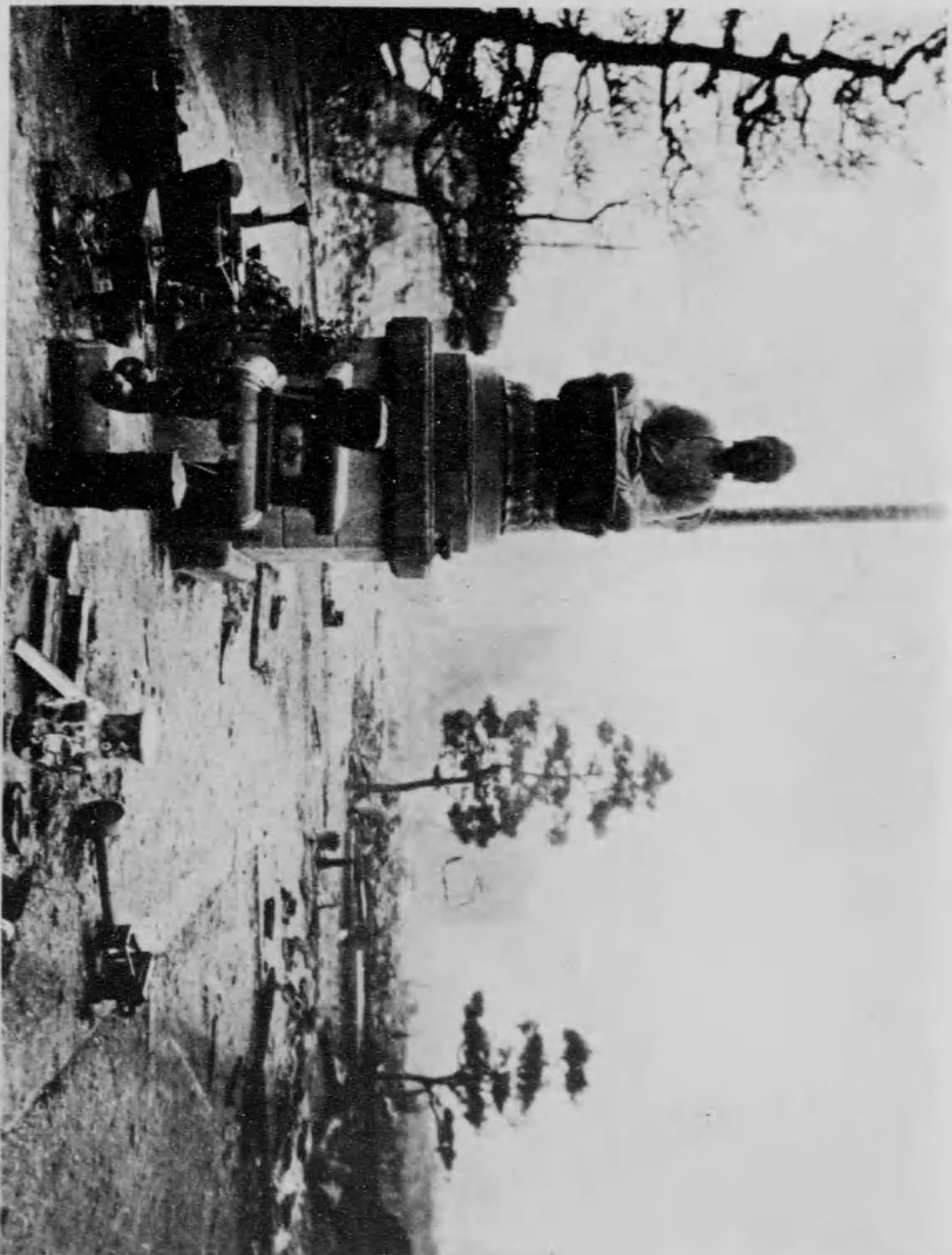
豊岡小学校前の避難者群

A temple at Toyo-oka. 潰倒の院寺町寺岡豊



Tsuyama. 害被の山居津

Dainkoji temple, Toyooka



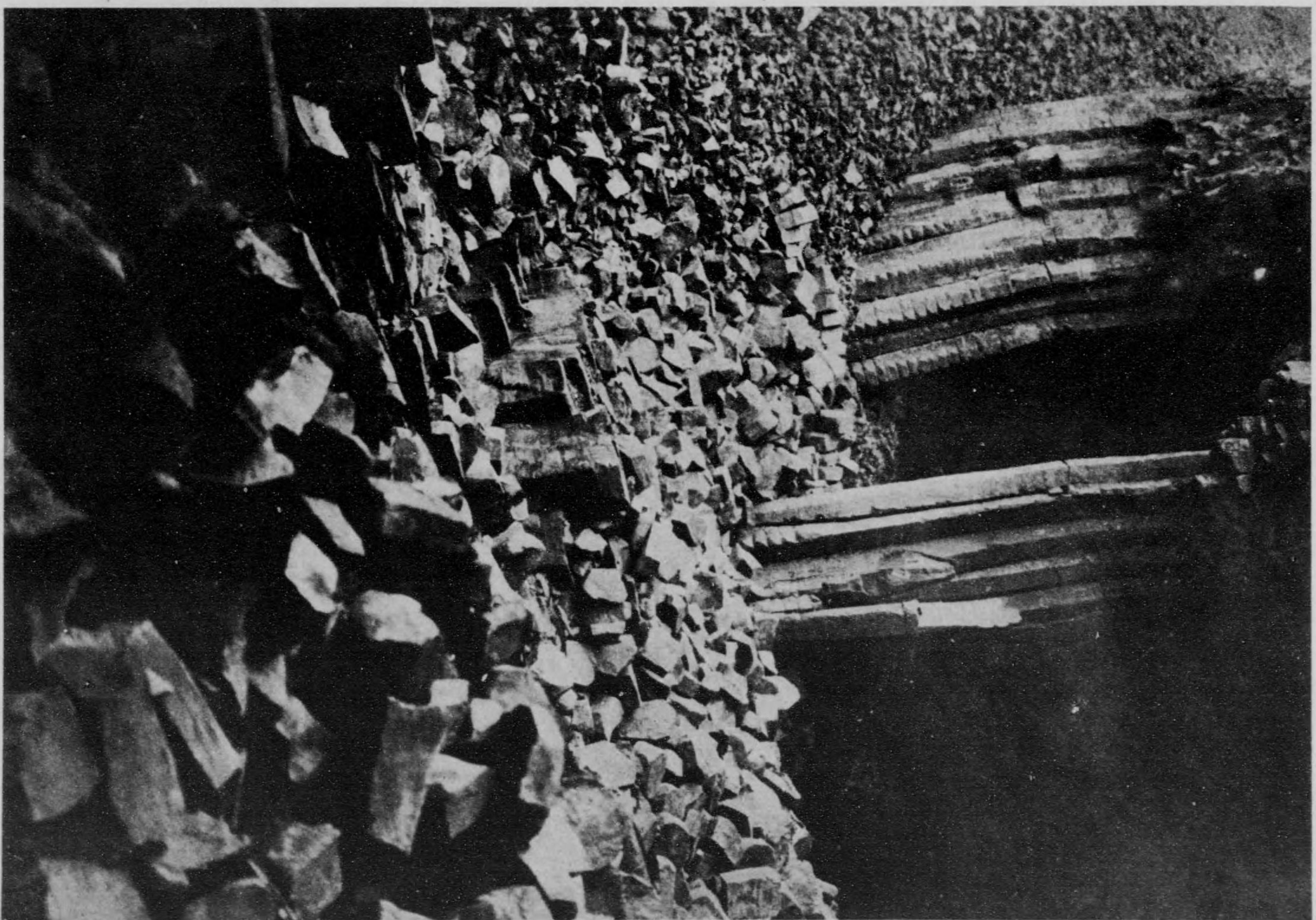
(上)豊岡町大光寺の焼跡 (下)城崎ゆとろ屋旅館跡の骨拾ひ



Picking up the bones of those lured to death in Yuto-ya Hotel (Kinosaki)



む望を原野焼いて距を跡焼の湯藏地りよ山泉温崎城
Kinosaki photographed from Onsen Hill. Remains of Zi-o-yu latrine in the foreground.



Genhudo (Kinosaki) damaged by the earthquake.

武河の震害

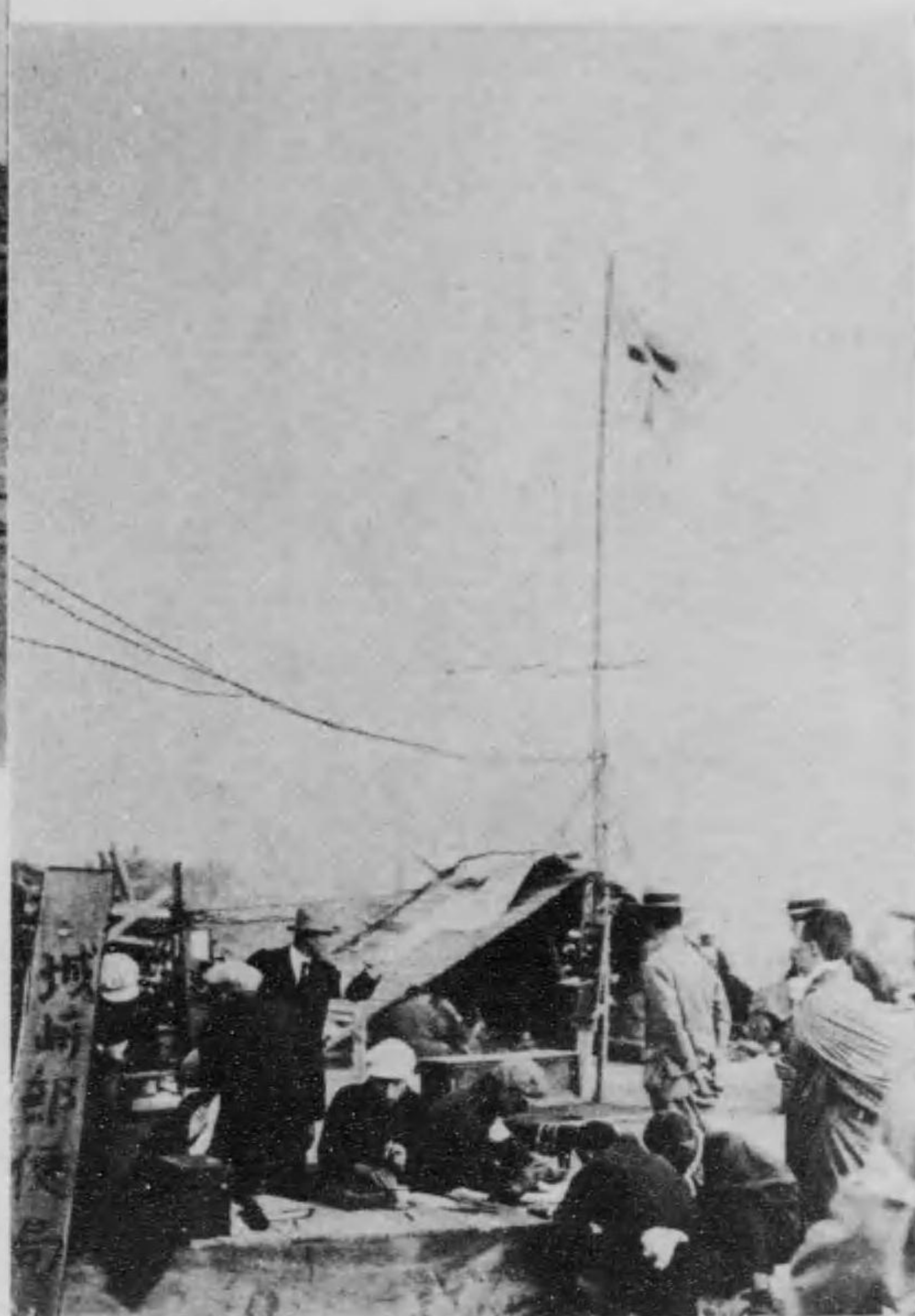
Kinosaki Geisha-girls themselves refugees) selling cool drinks at Toyo-oka.

城崎の避難藝妓が豊岡へ来てサイダーを賣る



城崎驛の負傷者運搬

Carrying injured at Kinosaki R. R. station.



局便郵崎城たれか開に天露
The emergency Post.office (Kinosaki.)

豊岡中學校庭々に大阪赤十字班
救護部の軍醫第十師及び支社

Activities of the Osaka branch of the Red Cross and the medical corps of the Tenth Division (Himeji) in the school grounds at Toyo-oka



姫路工兵第十大隊の活動
Activities of the Himeji engineering battalion

Putting up shacks on the railway track.

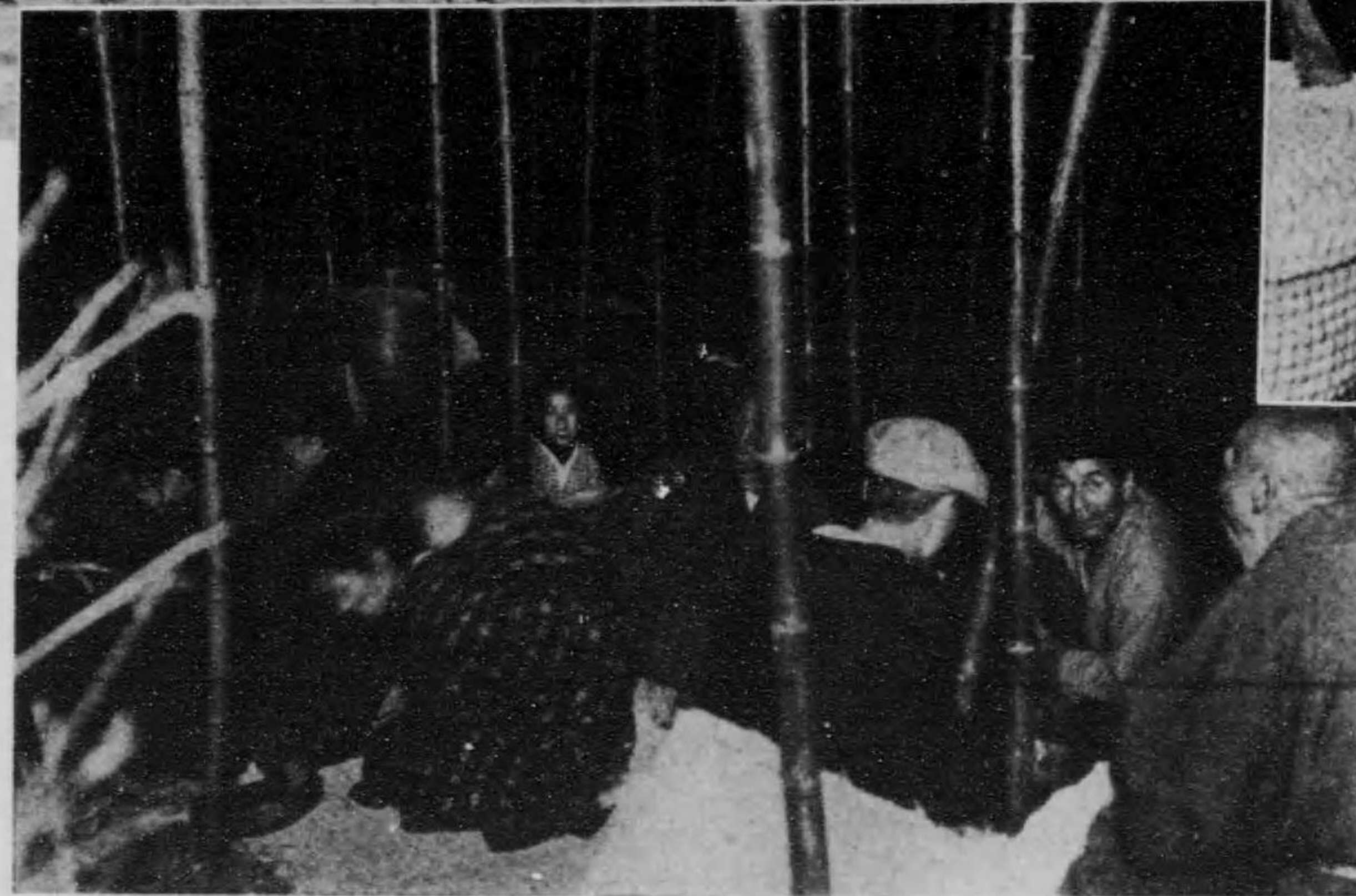


鐵道線路上の小屋掛け



者難避るけおに内車列の生往立
Occupying stand-still railway cars after the catastrophe.

竹藪中に夜を徹す

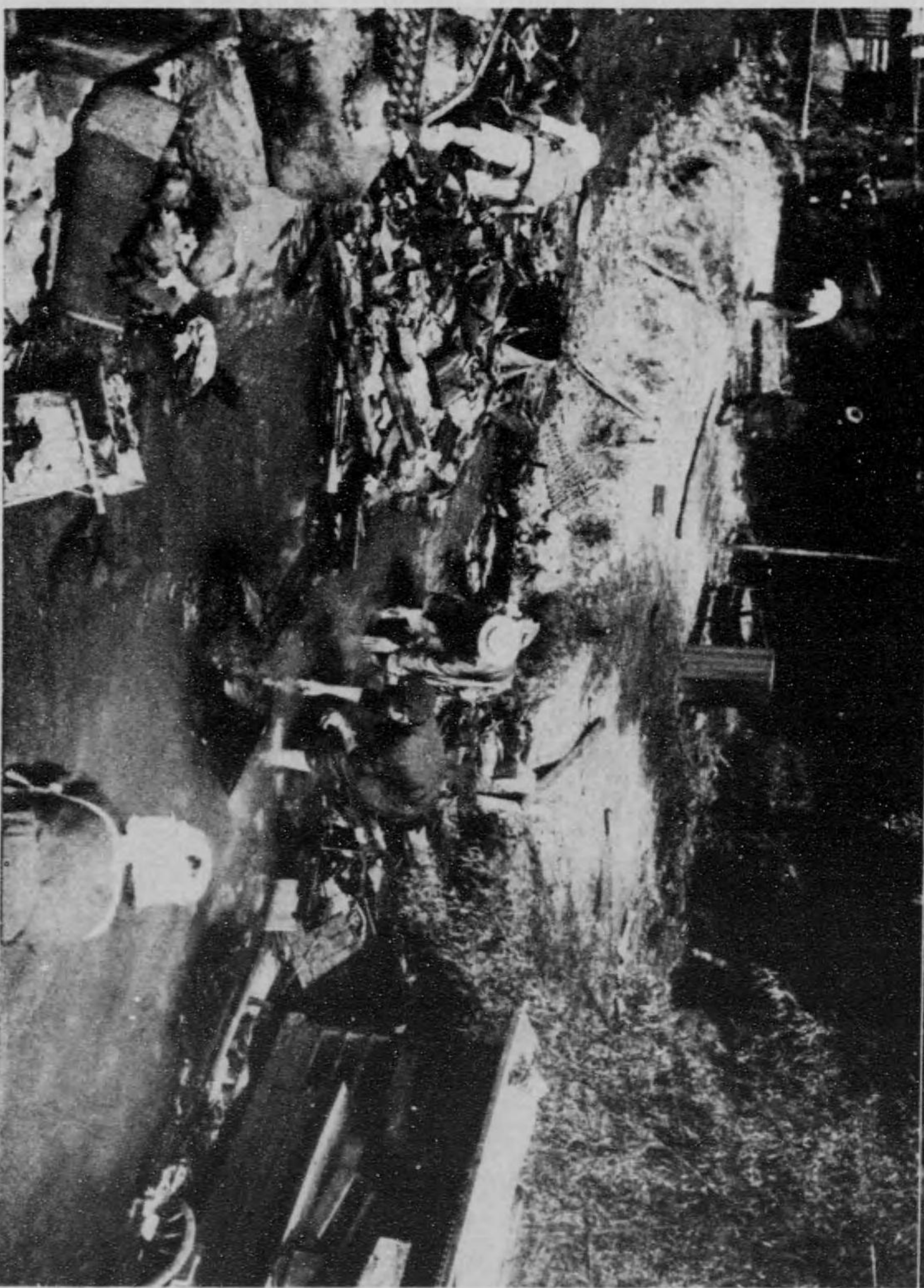


Refugees passing the night in a bamboo grove.

A part of the town of Kinosaki.



城崎御所附近



川の中に投げ込んだ家具を拾ふ(城崎町)

Fishing out the furnitures they threw into the river (Kinonaki)

Searching for bodies in the ruins of Yuto-ya Hotel, Kinosaki.



(崎城) し出掘体屍の跡館旅屋うとゆ

Coffins brought to the Toyo-oka crematory.



Placing bodies in coffins.

(岡豊)体屍の場葬火ぬれ切き焼

屍
体
の
納
棺

Refugees passing the night in a bamboo grove. (Kinosaki)



竹林中に夜を徹する避難者

義捐金募集の婦人會

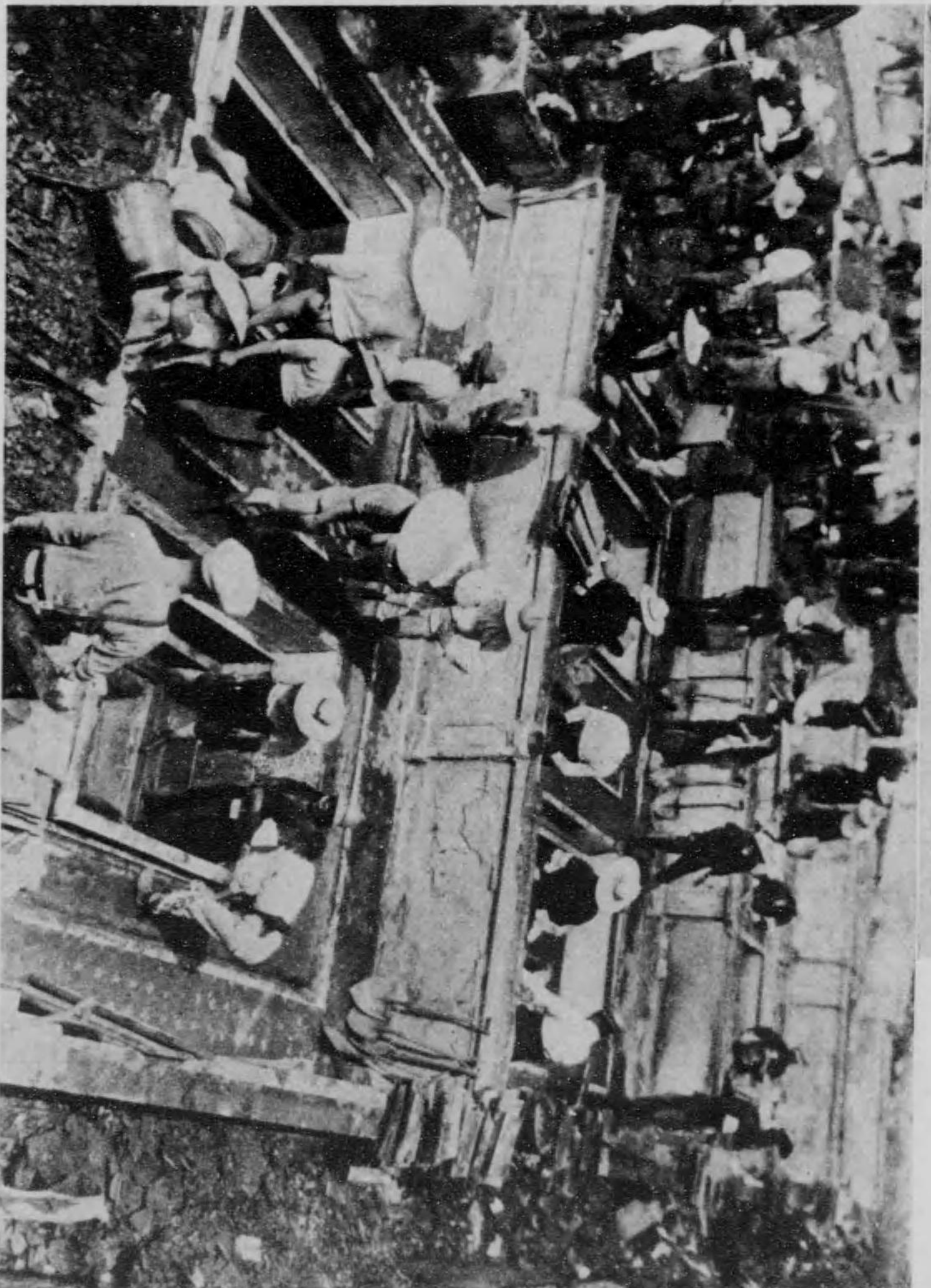


Members of the Osaka Utsubo Women's Club counting relief fund raised by popular contribution.

Free bath (Toyooka)

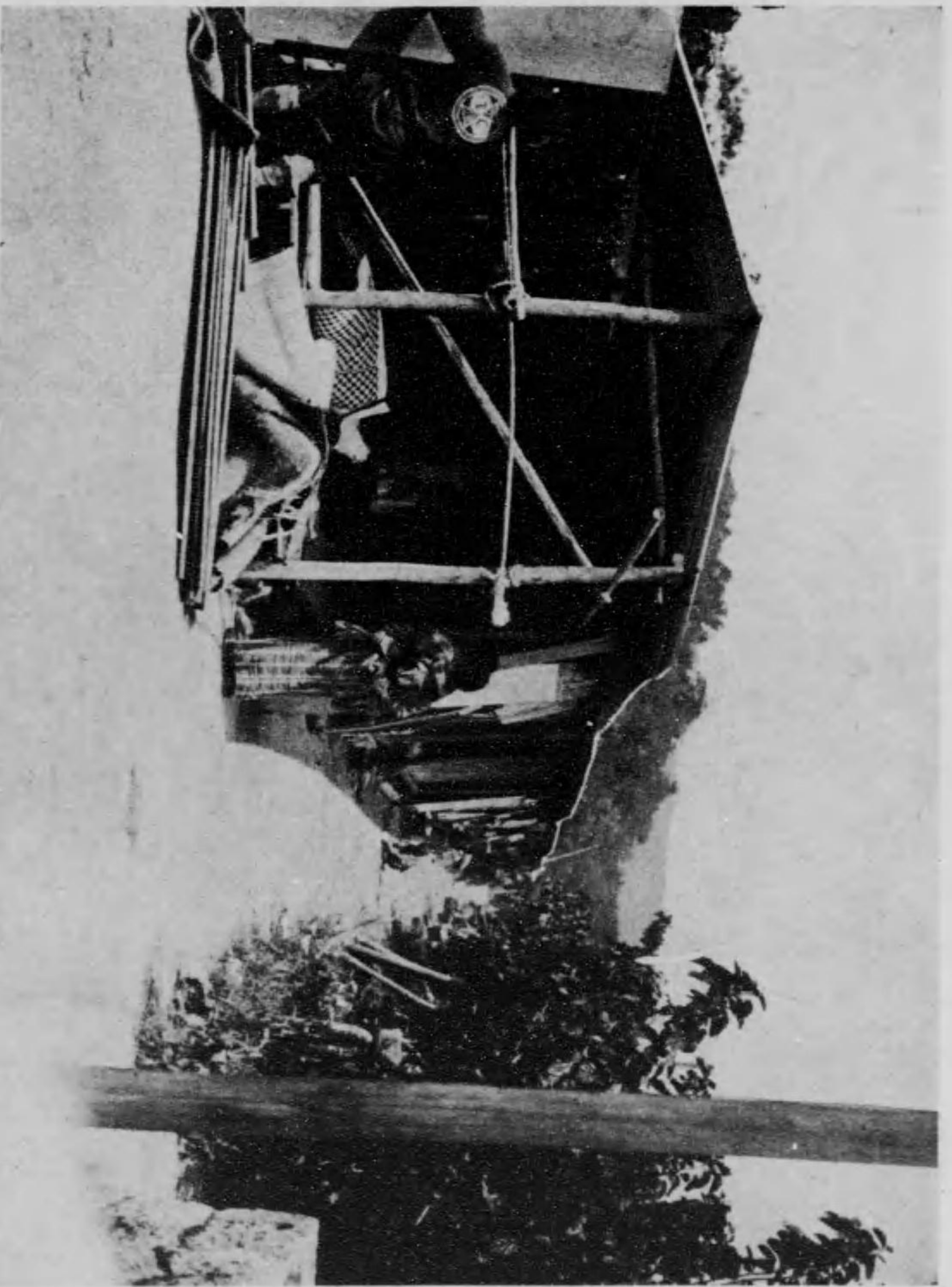


天理教の接待風呂

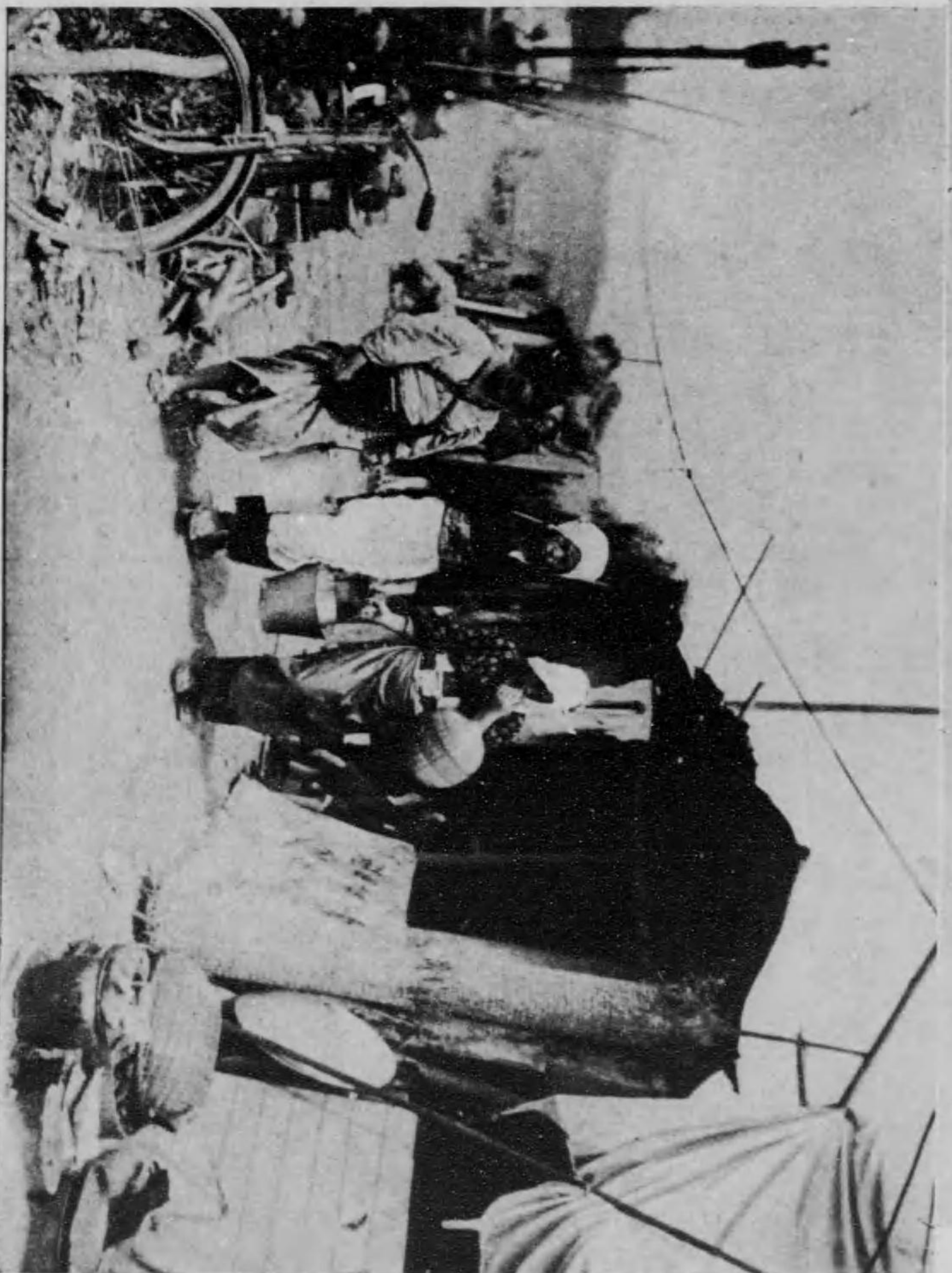


Reconstructing Ichino'u hot spring

理修舊復の湯の一崎城



久美濱のバラック小屋

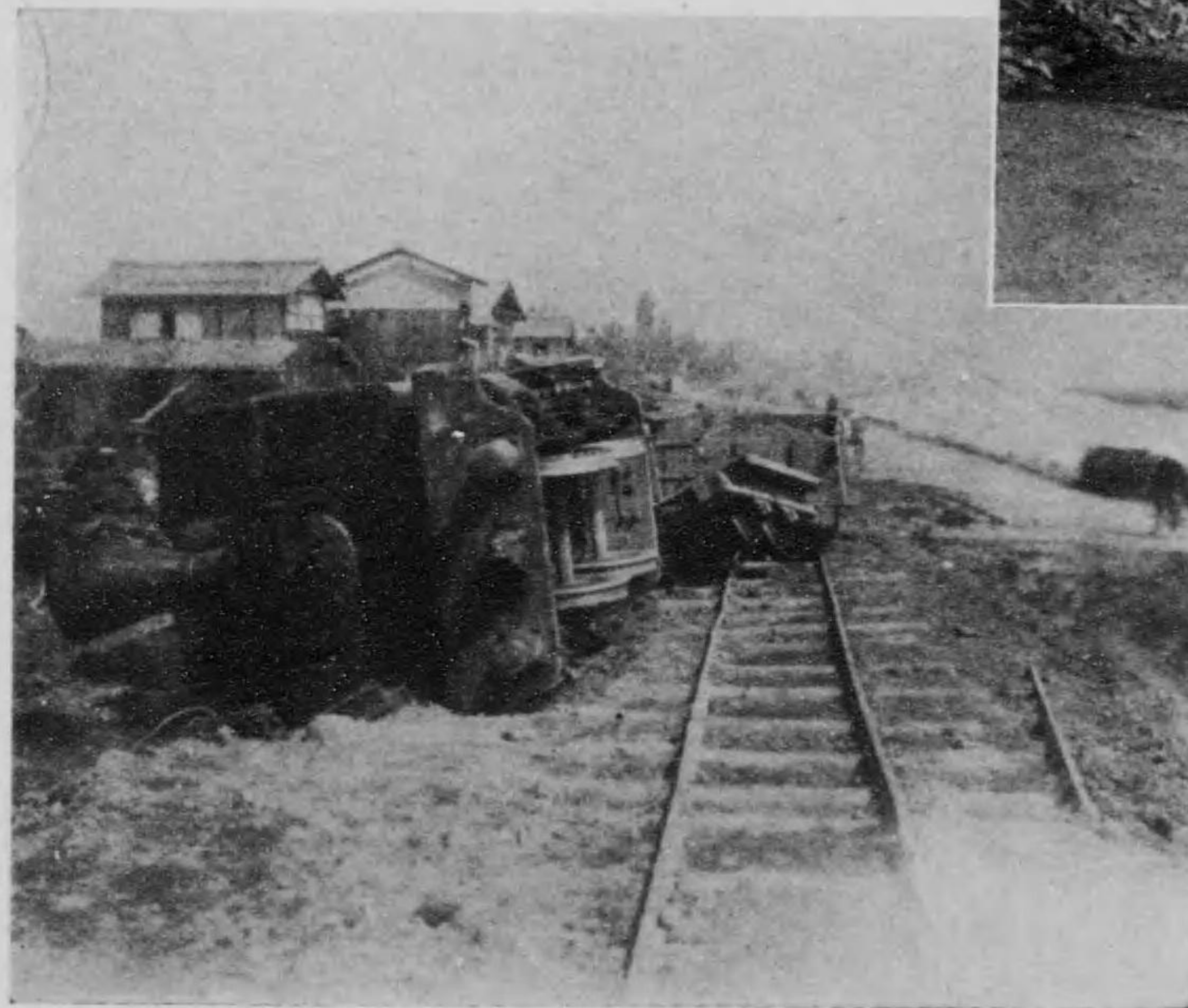


急造のバラック小屋

Shacks and barracks (Top Kumihama; bottom Toyooka)



Clam' erl in Kurcda and his party visiting reugees at Toyo-oka. 行一從侍田黒ふ舞見を者難避の庭校學中岡豊



復傾の車關機用事々工土の村市日一郡崎城

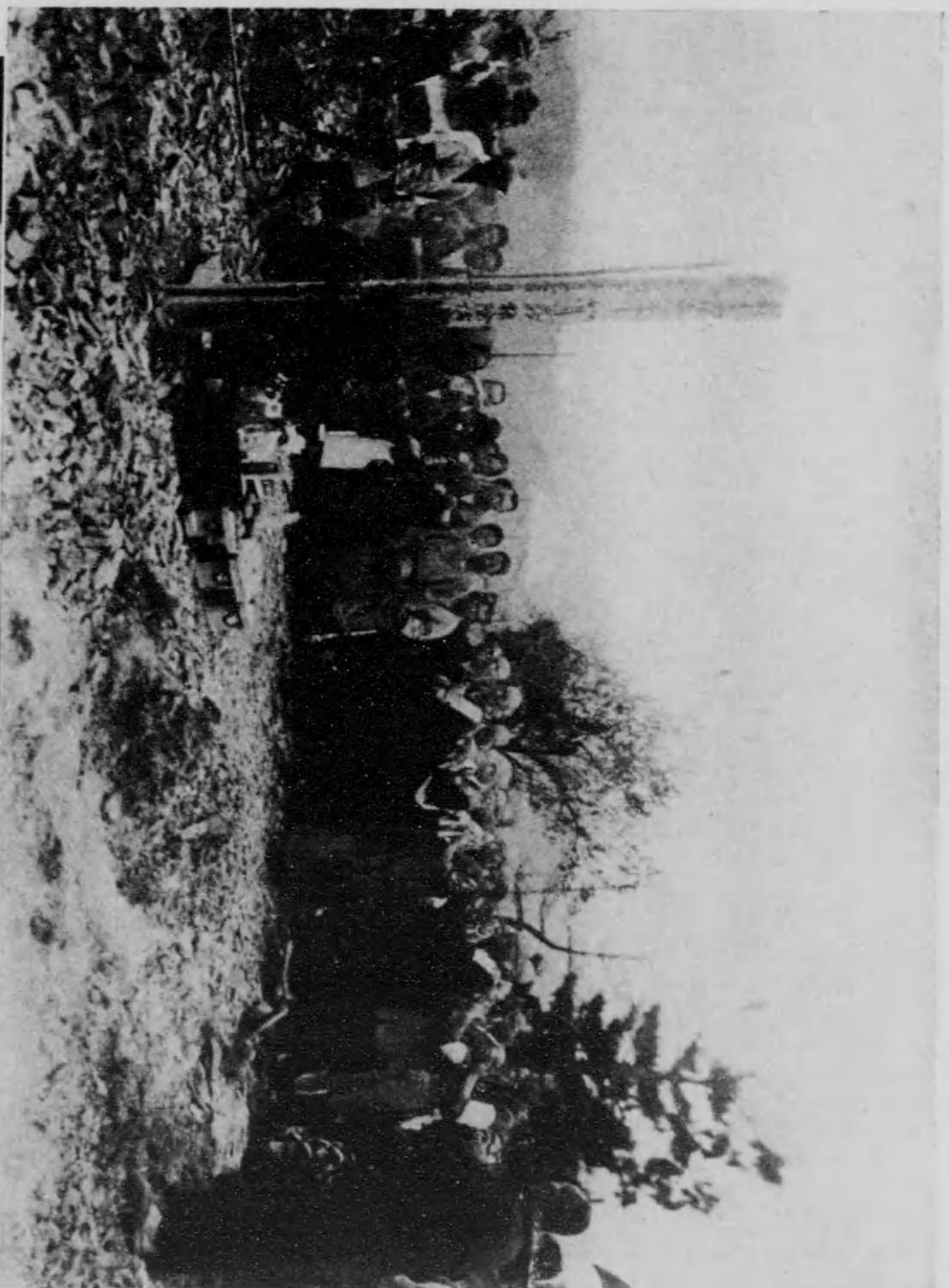
A derailed and overturned locomotive at Ili oichi near Kinosaki



長町崎城村西は帽程麥(央中)察視の官次務内岡片

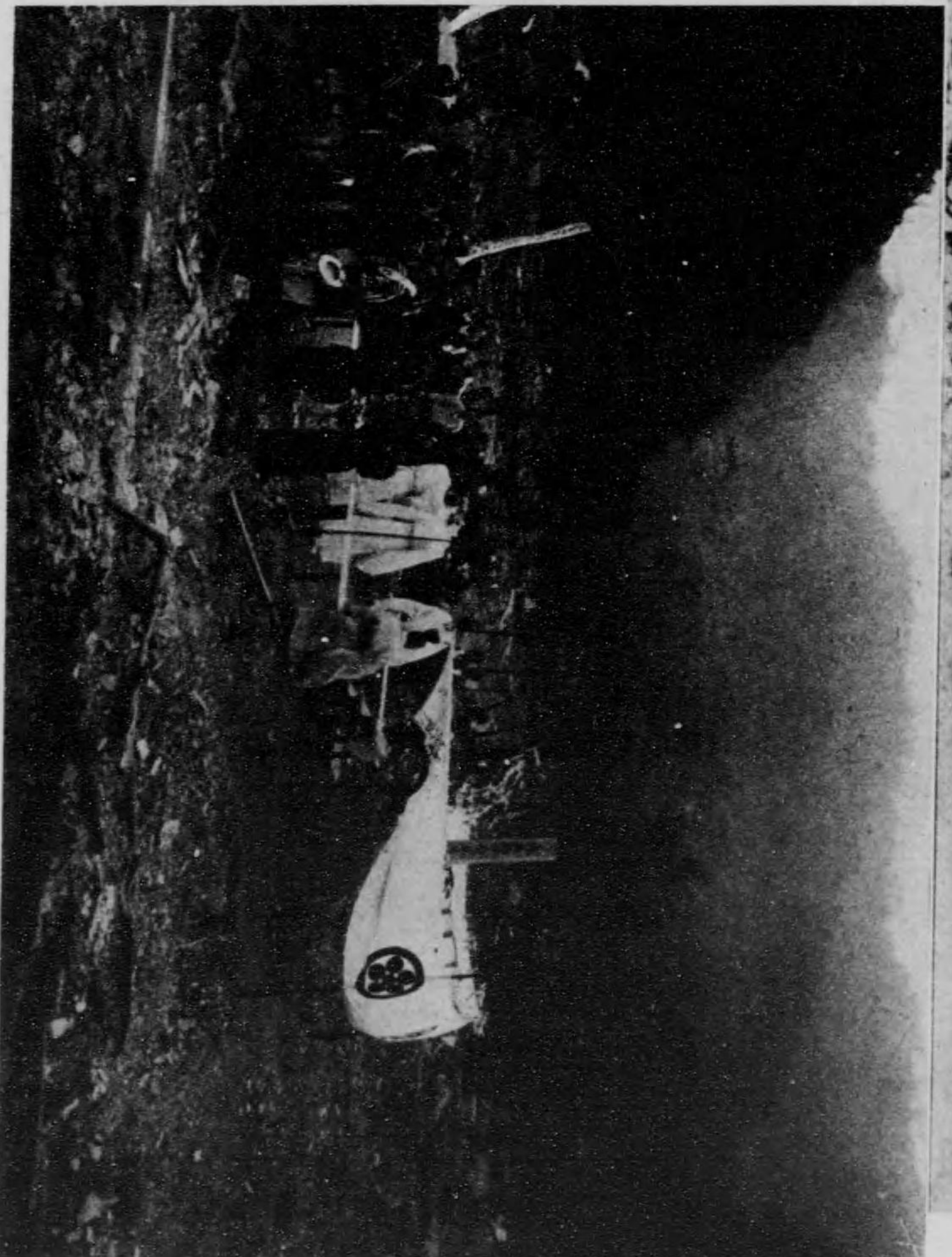
Under Home secretary Kata-oka (centre) inspecting the destroyed town of Kinosaki with Mayor Nishimura (right)

Memorial services (Toyooka)



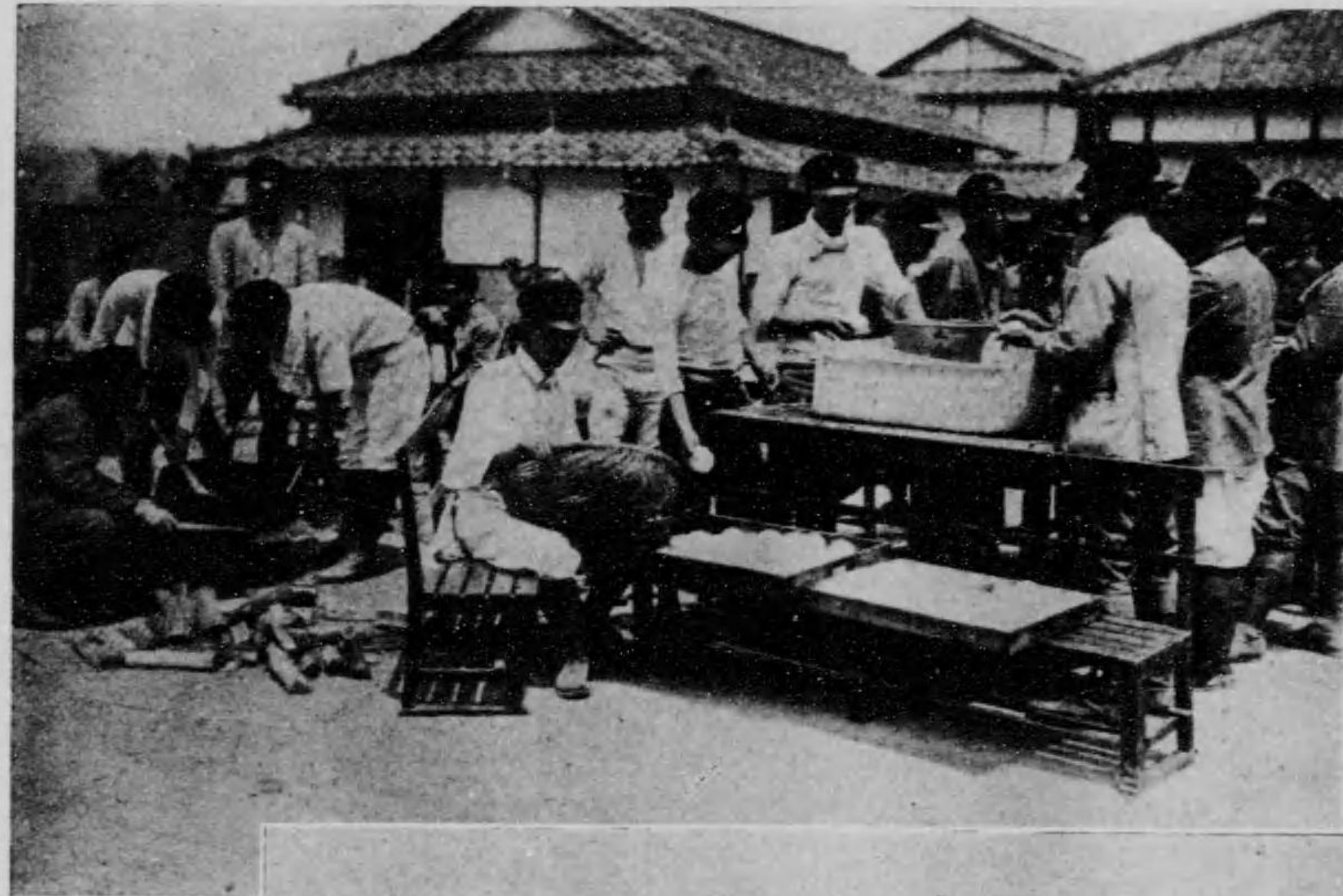
日蓮宗の追悼會(豊岡寺町)

城崎倶楽部跡の天理教慰靈祭



Memorial services (Kinosaki)

Students of Tottori College of Agriculture supplying food to the afflicted people of Toyo-oka.



鳥取高等農林學校の食糧班
(豊岡高等女學校)



神戸橋町青年團の活動
Activities of the Tachibana-cho (Kobe) Young Men's Association at Kinasaki.

バラックに電燈工事(豊岡)

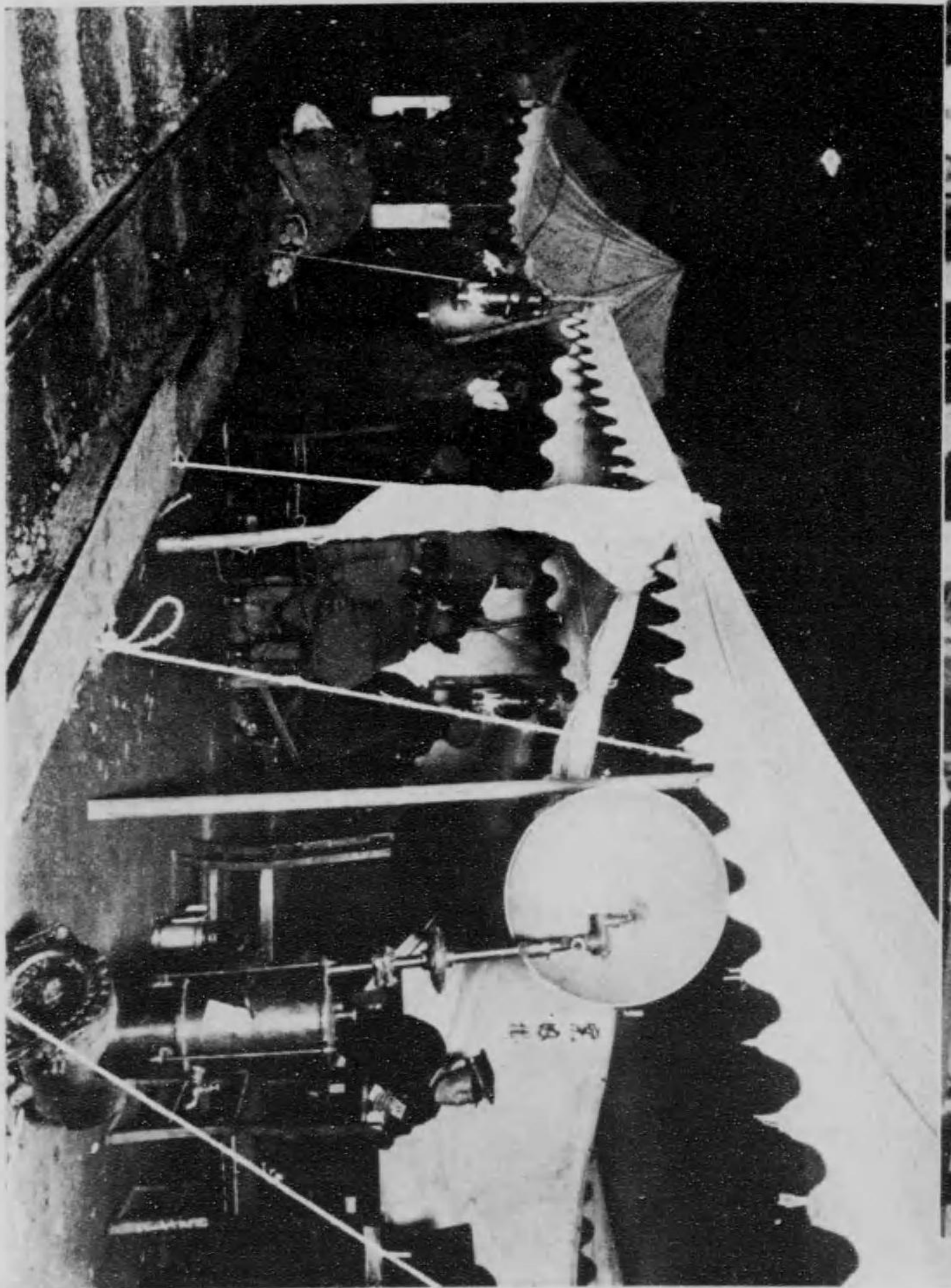


Installing electric lights in the shacks (Toyo-oka)



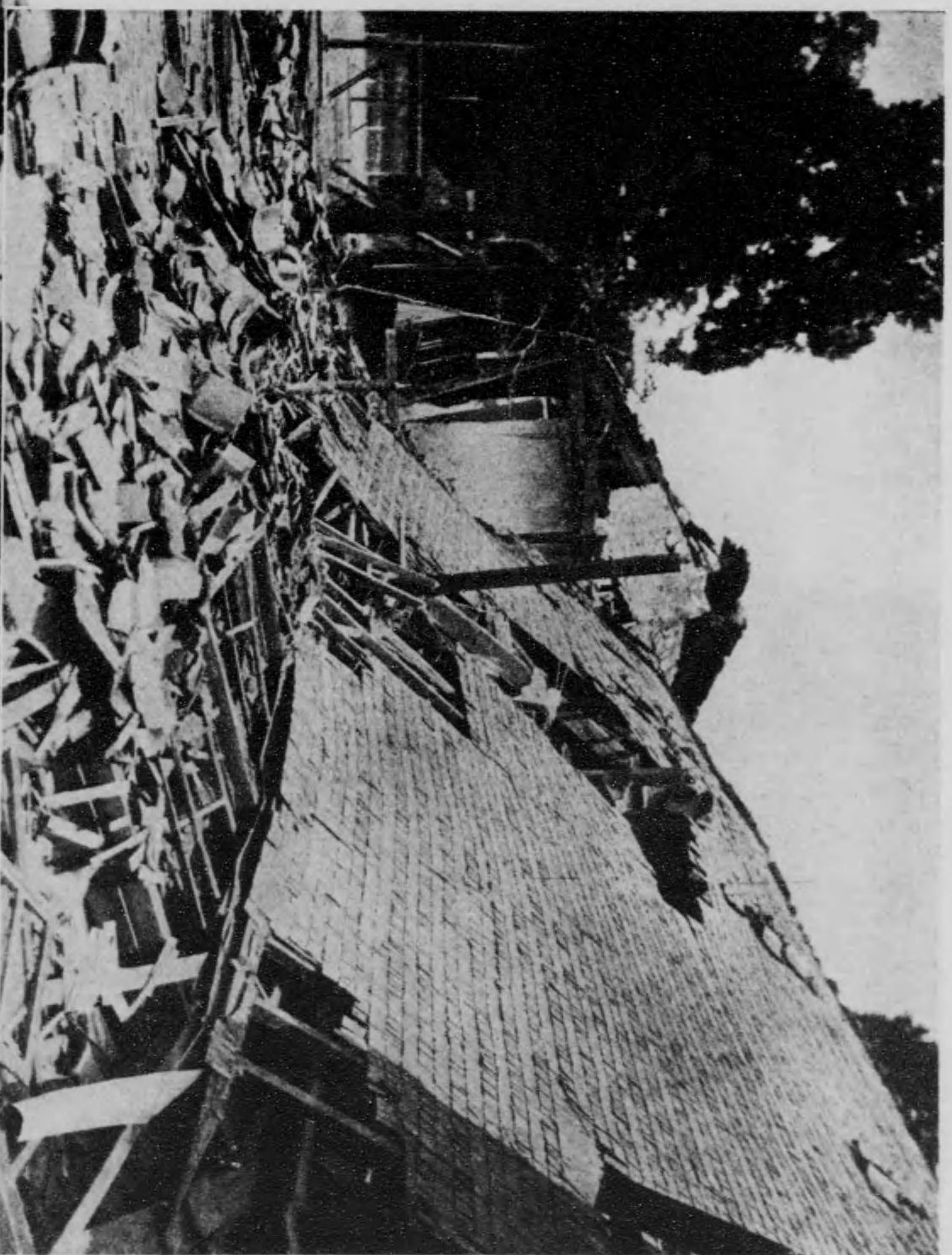
Crowded platform of Kinoshita station

城崎驛プラットフォームの混雑



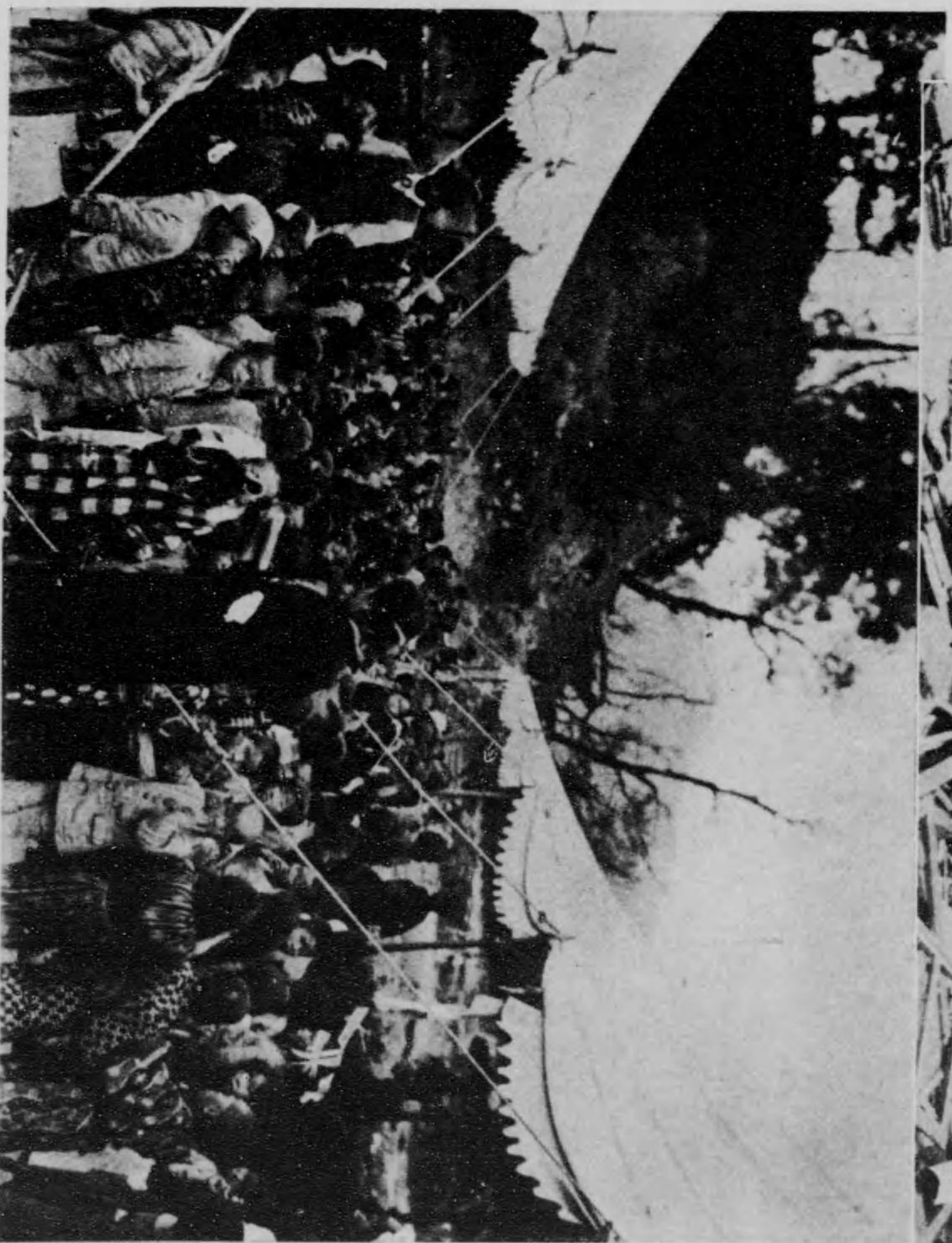
豊岡驛の仮事務所

A temporary Railway station (Toyooka)



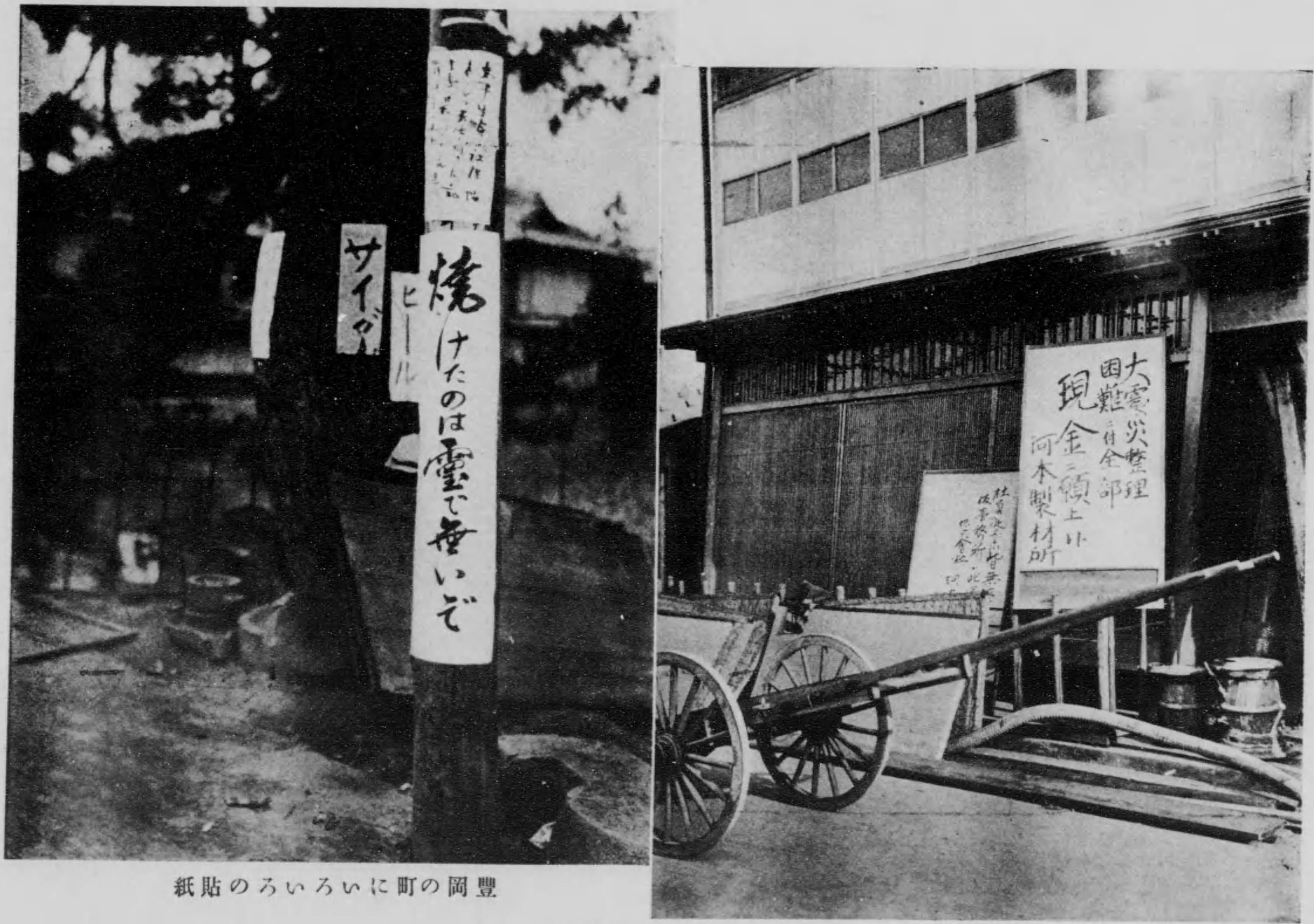
The ruin of the Kumihama primary school.

久美濱小學校の倒壊



露天で小學校の授業 (豊岡)

An open-air primary school (Toyooka)



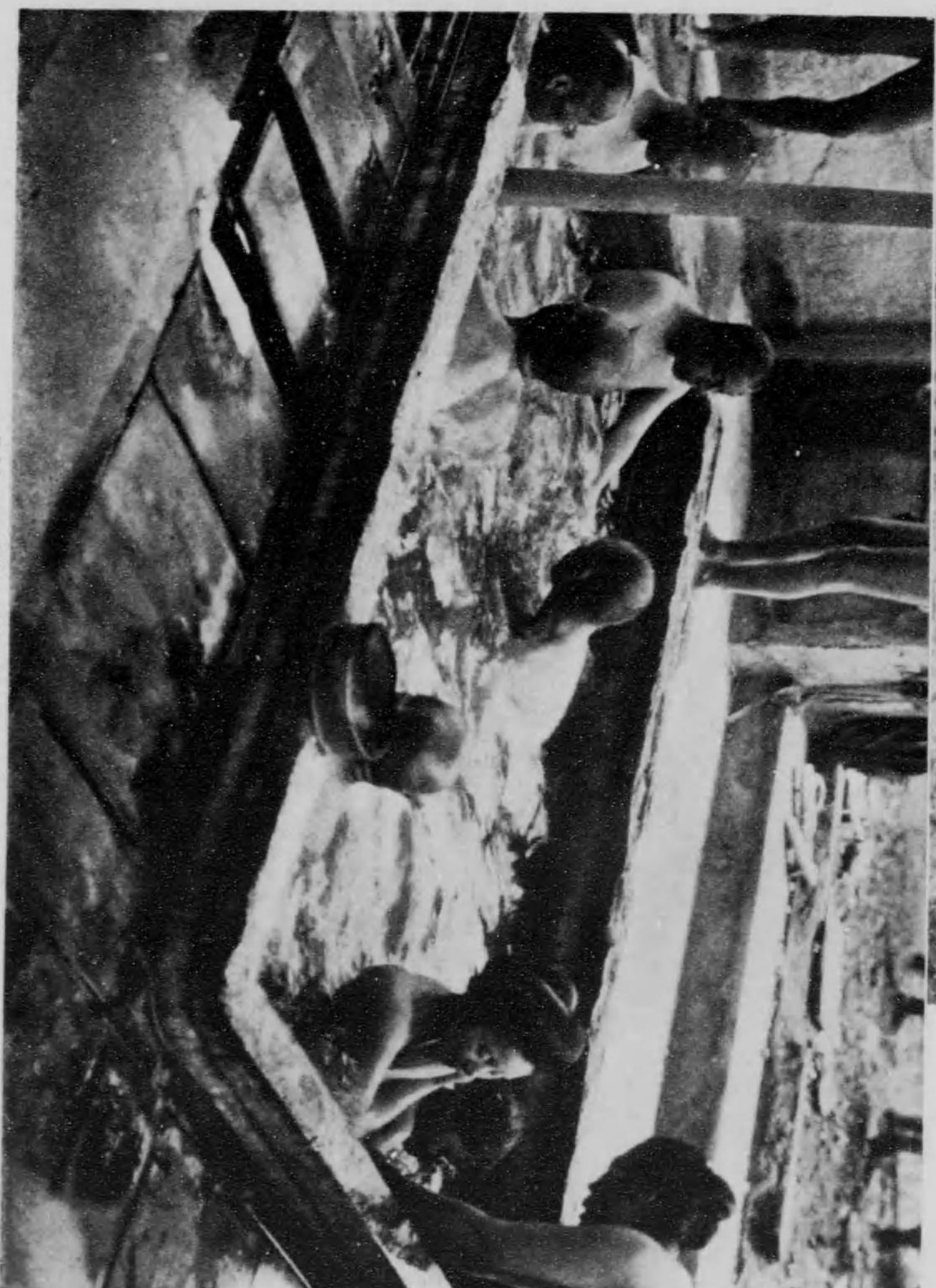
紙貼のろいろいに町の岡豊

Various plac rds seen in the streets of Toyo-oka

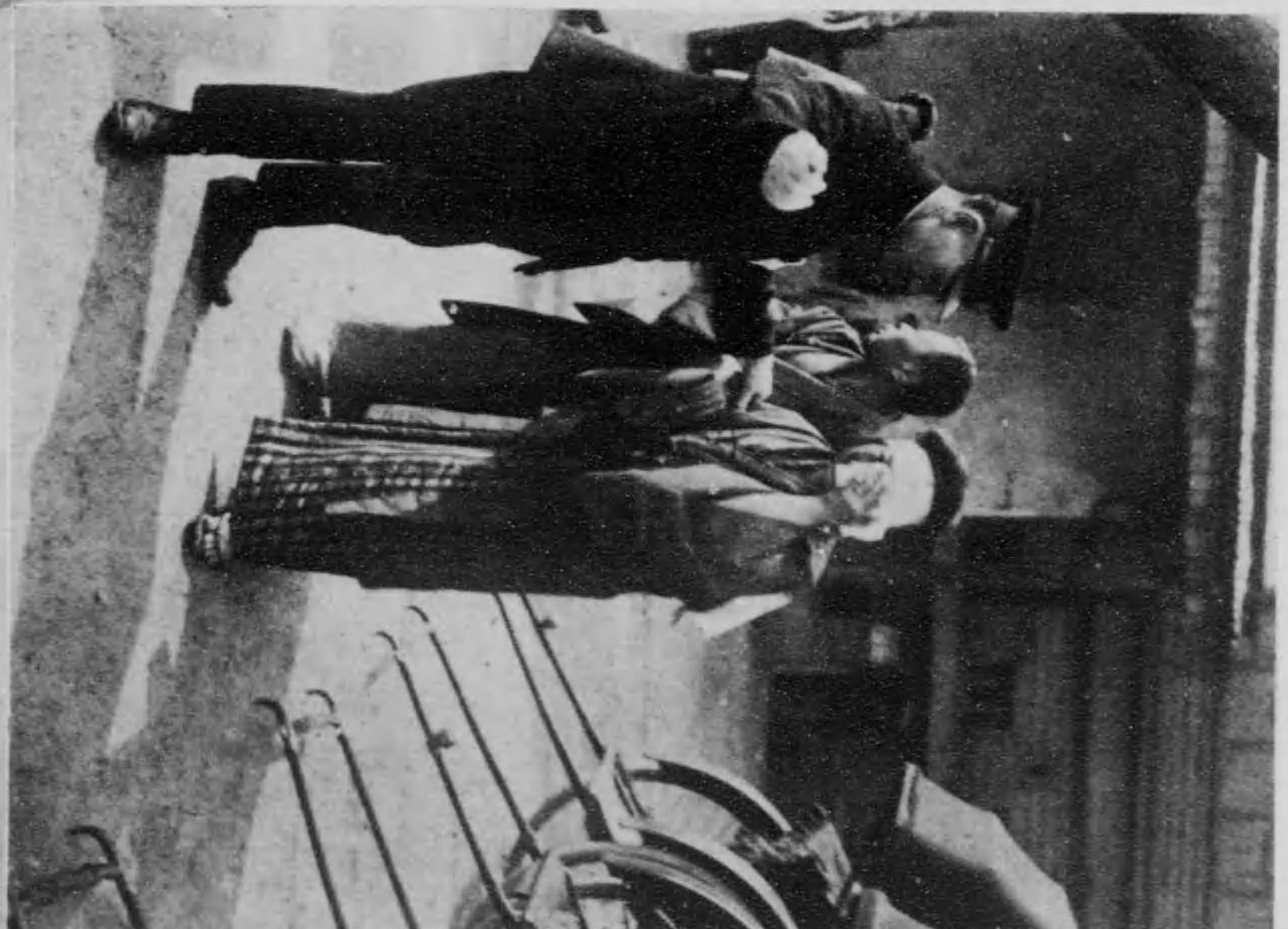
A free bath in the grounds of Toyo-oka high school



豊岡中學校庭における天理教の野天風呂(上)と
復興した城崎一の湯(下)



Ichinoyu, Kinoshiki, already made use of.



大阪駅へ着いた震災被難者



Refugees arrive in Osaka

大正十四年五月三十日印刷
大正十四年六月三日發行

(定價金壹圓)

大阪每日新聞社編纂

大阪府豐後郡美南町大字平尾四百九十九番地
發行所 荒木利一郎

大阪府北區堂島上三丁目十五番地
印刷所 谷口印刷所

大阪府北區堂島上二丁目廿六番地
發賣所 株式會社 大阪每日新聞社

東京市豊町區有樂町一丁目二番地
發賣所 東京日日新聞社

不許複製

大阪毎日新聞社の事業

日刊	大阪毎日新聞
日刊	東京日日新聞
日刊	英文「大阪毎日」
日刊	英文「東京日日」
週刊	サンデー毎日
週刊	點字「大阪毎日」
月刊	財政經濟
月刊	芝居ジキネマ
月刊	エコノミスト

終